

2019 年 度

定 時 総 会 資 料

公益社団法人 日本経営工学会

公益社団法人 日本経営工学会

2019 年度定時総会次第

1. 開会の辞
2. 出席者数報告
3. 議長の選任
4. 議事録署名人の指名
5. 会長挨拶
6. 報告事項
 6. 1 2018 年度事業報告, 学会賞・論文賞・論文奨励賞・特別賞報告
及び収支決算報告
 6. 2 監査報告
 6. 3 2019 年度事業計画, 収支予算報告
 6. 4 会費滞納者権利停止・会員資格喪失予告の件
7. 審議事項
 - 第一号議案 2018 年度事業報告及び収支決算報告の件
 - 第二号議案 規程改定の件（理事及び監事に対する報酬等の支給基準）
 - 第三号議案 名誉会員推戴の件
 - 第四号議案 新役員選任の件
8. 閉会の辞

6. 報告事項

6. 1 2018 年度事業報告, 学会賞・論文賞・論文奨励賞・特別賞報告及び収支決算報告

6. 1. 1 2018 年度事業報告, 学会賞・論文賞・論文奨励賞・特別賞報告

[I] 研究発表会, 学術講演会, 報告会等の開催 (定款第 4 条第 1 号) : 大会委員会

(1) 2018 年春季大会

2018 年 5 月 25 日 (金) ~ 5 月 26 日 (土)

場所: 名古屋工業大学御器所キャンパス

大会組織委員長: 仁科 健

テーマ「Society 5.0 時代への経営工学の挑戦~これからのものづくりには何が求められているか?~」

(2) 2018 年秋季大会

2018 年 10 月 27 日 (土) ~ 10 月 28 日 (日)

場所: 東海大学高輪キャンパス

大会組織委員長: 水野 浩孝

テーマ「情報技術革新がもたらす経営工学的アプローチの新展」

(3) 2019 年春季大会

2019 年 3 月 7 日 (木) ~ 3 月 8 日 (金)

場所: 福岡工業大学

大会組織委員長: 赤木 文男

テーマ「IE と ICT の融合」

[II] 会誌その他の図書刊行 (定款第 4 条第 2 号)

(1) 日本経営工学会論文誌 (Journal of Japan Industrial management Association) : 日本経営工学会論文誌編集委員会

Vol.69, No.1~No.4, No.2E, No.4E を発行した。

発行年月	巻	号	発行部数
2018 年 04 月 15 日	69	1	1,400
2018 年 07 月 15 日	69	2, 2E	1,400
2018 年 10 月 15 日	69	3	1,400
2019 年 01 月 15 日	69	4, 4E	1,400

原著論文 (調査研究) 4 件, 原著論文 (理論・技術)

8 件, 原著論文 (事例研究) 7 件を収録した。

(2) 経営システム (Communications of JIMA) : 経営システム誌編集委員会

Vol.28, No.1~2 を発行した。

発行年月	巻	号	発行部数
2018 年 07 月 15 日	28	1	1,800
2019 年 01 月 15 日	28	2	1,800

[III] 研究の奨励及び研究業績の表彰 (定款 4 条第 3 号)

2018 年度 学会賞・論文賞・論文奨励賞・特別賞報告 : 表彰委員会

(1) 学会賞 (学術)

梶原 康博 (首都大学東京)

対象業績: 先端技術を用いた作業研究およびその応用に

関する研究

推薦理由:

梶原康博氏は、作業研究及びその応用に関する研究に一貫して取り組まれており、現場が抱えている問題を常に意識しながら新たな問題を発見し、その時々最先端技術と経営工学の融合により新たな理論構築をおこない問題解決をしている。特に、作業研究に基づく工場の生産性向上のための改善活動として、ロボットや画像処理を用いた作業の自動化や人工現実感を用いた工程設計などの生産システムの設計・改善だけではなく、作業者を巻き込む職場環境の改善や高齢者活用のための職務再設計にも焦点を当てて研究を進めてきた。また、伝統的な技術・技能をデジタル化することに、昨今の人材不足による伝統的な技術伝承の解決を試みている。その研究姿勢は、経営工学発祥以来からの経営工学の原点であり、経営工学の若手研究者の見本となるものである。

さらに、学会の春と秋の大会、並びに経営工学関連の国際会議等に積極的に参加され、特に、中国四国支部と北京航空航天大学 (中国) が共催し隔年で開催している国際会議 (ICIM) において Program Coordinator を務めるなど、作業研究に関する分野で積極的にリードされている。同分野の学術領域において顕著な業績と存在感を有する研究者である。梶原康博氏は、同分野において質・量共に優れた学術成果を上げている日本を代表する研究者であるといえる。

以上の理由により、梶原康博氏を学会賞 (学術) をもって顕彰する。

論文リスト: <日本経営工学会論文誌から抜粋>

再資源化のための切断分解工程設計決定手法に関する研究: 外枠展開図による切断順序決定 (第 1 報), 49 (1), 36-43, 1998

部品・ユニットの入力・出力規格から見た標準化手法に関する研究, 49 (2), 83-90, 1998

CAD 情報と画像処理による立体的に組み合わせた部品間のはんだ位置の検査法に関する研究, 50 (2), 112-119, 1999

作業ストラクチャー展開図に基づく製造原価の見積り法及び低減法, 50 (6), 464-473, 2000

高齢者の作業能力評価に関する研究, 51 (3), 159-167, 2000

テレオペレーションを使用した分解工程に関する研究: 多面視モニタリングシステムを用いた工具位置決め作業, 51 (5), 474-483, 2000

柔軟性を有する帯状対象物の画像処理による整列および検査手法, 51 (5), 416-425, 2000

省人化工場内の作業員の安全確保のためのモニタリング手法, 52 (1), 37-45, 2001

モニター監視における照明による配色の視認性に関する研究, 52 (2), 117-124, 2001

マテリアルリサイクルのための分散分解手法に関する研究, 54 (1), 36-45, 2003

作業分析によるロボット料理レシピの作成手法, 56 (4), 302-311, 2005

IT-based Job Enlargement System for Aging Workers, 56(6), 460-470, 2006

人体リンクモデルを用いた組立作業姿勢計画手法, 57 (2), 132-143, 2006

技能の定量化に関する研究：第 1 報，動作部位の 3 軸回転角度からみた動きの分析手法, 58 (1), 17-28, 2007

外科手術における運針動作の分析：ロボットを用いた運針動作のモデル化, 58 (3), 208-217, 2007

人工現実感を用いた組立作業訓練の効果に関する研究, 59 (2), 162-172, 2008

作業姿勢計画支援装置に関する研究 (理論・技術), 63 (4), 236-244, 2013

作業分析に基づく服飾雑貨流通加工の生産性向上に関する研究, 64 (2), 169-176, 2013

作業姿勢設計支援システムにおける作業補助具装着時の作業負担評価手法の提案, 67 (1), 29-36, 2016

食品製造工程における選別作業適性評価手法に関する研究, 67 (3), 242-251, 2016

Development of Methods and an Apparatus for Counting Stacked Plywood, 68(2E), 128-138, 2017

従業員の職務満足と継続就業意思の経年変化とその因果関係に関する研究, 69 (1), 33-45, 2018

(2) 学会賞 (功労)

該当者なし

(3) 論文賞

該当論文なし

(4) 論文奨励賞

中塚 昭宏 (慶應義塾大学), 松川 弘明 (慶應義塾大学)
「集合知メカニズムに基づく投票方式の需要予測手法に関する研究」日本経営工学会論文誌 Vol. 69, No. 3, pp.143-152, 2018

推薦理由：

本論文では、データ不足等から予測が難しい製品の需要について、自社内の従業員の知識経験をもとに、集合知メカニズムを用いて予測をおこなう方法を提案している。実際の企業に適用し、企業で用いられた既存手法と比較しその優位性を示している。実施前の準備、実行手順について文献を参考にしながら丁寧かつ明快に記述し、他の企業にも適用が可能であることを示唆している。また、参加者の属性や一括投票と需要予測精度の関係性について考察をおこない、より精緻化する方法を述べている。

本論文は、経営工学の産業界での活用に寄与するものであり、提案手法のより一層の学術的論証とともに、若手研究者である第一著者の研究のさらなる発展が期待されるものとして、本年度の論文奨励賞の受賞論文として選出した。

(5) 特別賞 経営システム賞

近藤 功, 原 正巳, 原田 智彦, 樋口 晋也, 中川 慶一郎 (株式会社 NTT データ)

「コグニティブ・コンピューティングを活用したホワイトカラーの業務効率化」経営システム, Vol. 28, No. 1, pp. 24-29

推薦理由：

本記事では、近年目覚ましい発展を遂げている AI の能力

を結びつけ、人間の意思決定をサポートするコグニティブ・コンピューティングを活用した業務効率化の取り組みに関し、経営システムの視点から詳細に説明している。コグニティブ・コンピューティングの概要や概念図を示した後、顧客対応を行うフロントオフィスとそれらの業務を支援するバックオフィスへの適用について、事例とともに紹介している。これらの内容は今後の経営工学分野への即時実践の知見として、大いに資する部分があると考えられ、経営工学会の多くの会員にとって有益な記事である。

以上の観点から、本記事を経営システム賞として選出した。

(6) 特別賞 経営工学実践賞

唐澤 英安 (データ・ケーキベカ株式会社)

「データを可視化し情報化・知識化する連環データ分析」推薦理由：

唐澤氏は、ソニー(株)で各種新製品開発プロジェクトに従事され、定年退社後は、現在のデータ・ケーキベカ(株)を設立され現在に至っている。

その間、データマイニングとテキストマイニング手法としての連環データ分析を構築し、製造業を始め、教育産業、飲食業等のサービス産業への展開を進め、その成果を日本経営工学会でも定期的に報告し、長きに渡り経営工学の啓蒙・発展に貢献されている。

以上の経緯から、実践賞として選出した。

参考：

- 1) イノベーションを“マッチング・マインド・マップ”で駆動する構造的プロトタイプのアプローチ, 日本経営工学会 2018 年秋季大会予稿集, pp. 162-165, 2018
- 2) イノベーション・プロジェクト・マネジメントのテクノロジー〜トリニトロン計画で開発された F-CAP システム〜, 日本経営工学会 2017 年秋季大会予稿集, pp. 116-121, 2017

(7) 特別賞 Best Presentation Award

2018 年春季大会

受賞者	所属	演題
金澤 真平	早稲田大学	自己符号化器の中間表現を用いた特徴分析に関する一考察
佐野 宏樹	慶應義塾大学	機械学習とテキストマイニングを用いたビットコインの価格動向予測
杉崎 智哉	早稲田大学	特徴間の交互作用を考慮した学生ユーザの企業エントリー行動分析モデルに関する一考察
世古 裕都	早稲田大学	気象条件と店舗特性を考慮した商品別需要モデル構築に関する一考察
保戸田 未桜	早稲田大学	EC サイトにおけるページ遷移順序を考慮した購買行動分析

2018 年秋季大会

受賞者	所属	演題
亀崎 拓也	上智大学	自動車工場の部品倉庫における棚の高さによるピッキング時間の違いと部品同士が同時に生産ラインへ出庫される頻度を考慮した 3 次元の部品配置問題
後藤 祐貴	成蹊大学	分解に着目した 3DCAD データから有効な組立順序を導出する方法の研究
日出山 慎人	筑波大学	待ち行列理論を用いた宅配ボックスサービスのモデル化
藤本 昂矢	上智大学	商品管理温度帯を考慮したクロスドック倉庫ネットワークにおけるトラックの輸送計画

2019 年春季大会

受賞者	所属	演題
荒川 智海	慶應義塾大学	アイテム人気度を考慮したユーザー間類似度による協調フィルタリング精度向上について
大場 春佳	静岡理工科大学	ベイジアンネットワークを用いた Windshear Warning 発生要因の考察
福田 友哉	国立呉工業高等専門学校	外科用彎曲針による運針引抜動作における医原性損傷に関する研究

須藤 百香	秋田県立大学	システム科学技術学部 経営システム工学科
木幡 洋希	金沢工業大学	情報フロンティア学部 経営情報学科
海田 圭太	東京都市大学	知識工学部 経営システム工学科
芦川 拓矢	千葉工業大学	社会システム科学部 プロジェクトマネジメント学科
温井 慧	千葉工業大学	社会システム科学部 経営情報科学科
吉村 保亮	長崎総合科学 大学	総合情報学部 総合情報学科
毛利 文俊	福岡工業大学	情報工学部 システムマネジメント学科
吉田 賢樹	法政大学	理工学部 経営システム工学科
中家 滉大	近畿大学	工学部 情報学科
坂川 雄紀	成蹊大学	理工学部 情報科学科
武井 宏樹	成蹊大学	理工学部 システムデザイン学科
加納 伸一	筑波大学	理工学群社会学類 経営工学主専攻

以上 24 名

(8) 特別賞 優秀学生賞

氏名	大学名	学部学科名
青柳 直人	早稲田大学	創造理工学部 経営システム工学科
西尾 啓汰	青山学院大学	理工学部 経営システム工学科
水口 広大	首都大学東京	システムデザイン学部 システムデザイン学科
星野 欣樹	東京理科大学	理工学部 経営工学科
川崎 香織	東海大学	情報通信学部 経営システム工学科
蔦澤 寛	慶応義塾大学	理工学部 管理工学科
住谷 有規	東京工業大学	工学部 経営システム工学科
太田 和希	神奈川大学	工学部 経営工学科
望月 暁史	名古屋工業 大学	工学部都市社会工学科 経営システム系プログラム
鈴木 紗也	玉川大学	工学部 マネジメントサイエンス学科
北野 祐太	電気通信大学	情報理工学部総合情報学科 経営情報学コース
續橋 涼	足利大学	工学部創生工学科 システム情報分野

【IV】 調査、研究、見学及び視察（定款第 4 条第 4 号）

支部及び研究部会を通して以下の通り活動した。

(1) 支部活動計画：支部委員会

1) 東北・北海道支部

ー北海道、青森、岩手、秋田、山形、宮城、福島

支 部 長：嶋崎 真仁（秋田県立大学）

副支部長：竹野 健夫（岩手県立大学）

事 務 局：〒015-0055

秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口 84-4

秋田県立大学システム科学技術学部

経営システム工学科 嶋崎 真仁

E-mail：shima@akita-pu.ac.jp

① 支部総会

日 時：2019 年 3 月 2 日（土）

会 場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台東口
ミーティングルーム 2B

出席者：4 名

議 題：

（ア）2018 年度支部事業、中間決算報告

（イ）2019 年度支部事業計画、予算案

（ウ）役員（運営委員等）について

（エ）その他

② 運営委員会（5 回）

2018 年 4 月 9 日（月）、19 日（木）

2018 年 8 月 20 日（月）

2018 年 12 月 14 日（金）、25 日（月）

会 場：電子メール会議

③ 研究発表会（1 回）

日 時：2019 年 3 月 2 日（土）

会 場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台東口
ミーティングルーム 2B

発表件数：5 件

参加者：8 名

- ④ その他
特になし

- ⑤ 支部所属会員数（2019 年 3 月末）
正会員数 35 名，名誉会員数 0 名，
学生会員数 4 名，賛助会員数 0 社

2) 関東支部

一茨城，栃木，群馬，埼玉，千葉，東京，神奈川，山梨

支 部 長：熊谷 敏（青山学院大学理工学部）

副支部長：飯島 俊文（Q & T マネジメント研究所）

斎藤 正武（中央大学 商学部）

関 庸一（群馬大学 理工学府）

中島 裕司（富士通㈱）

事 務 局：〒152-8552

東京都目黒区大岡山 2-12-1-W8-29

東京工業大学 情報理工学院

山下研究室内

事務局担当者名 山下 真

E-mail：Makoto.Yamashita@c.titech.ac.jp

<https://sites.google.com/view/jima-kanto/>

- ① 支部委員会（第 1 回）

日 時：2018 年 7 月 21 日（土）

会 場：東京都市大学サテライトクラス

出席者：9 名

議 題：

（ア）2017 年度事業及び収支決算報告について

（イ）2018 年度事業計画及び収支予算について

（ウ）学生論文発表会のセッションと学生論文賞について

（エ）委員の担当割り当てについて

（オ）他支部との連携について

（カ）第 35 期役員及び代議員選挙 選挙委員推薦について

（キ）その他

- ② 人材育成研究会講演会（第 1 回）

日 時：2018 年 7 月 21 日（土）

会 場：東京都市大学サテライトクラス

講 師：佐藤 聡 氏

（日本ディープラーニング協会 理事）

演 題：AI 共創社会に向けた展望

参加者：20 名

- ③ 支部委員会（第 2 回）

日 時：2019 年 3 月 1 日（金）

会 場：東京都市大学 世田谷キャンパス 1 号館地下 1 階 1BP 教室

出席者：6 名

議 題：

（ア）次年度以降の運営について

（イ）学生論文発表会の運営について

- ④ 学生論文発表会

日 時：2019 年 3 月 1 日（金）

会 場：東京都市大学 世田谷キャンパス 1 号館地下 1 階

発表件数：42 件

参加者：約 70 名

- ⑤ 支部所属会員数（2019 年 3 月末）
正会員数 592 名，名誉会員数 18 名，
学生会員数 137 名，賛助会員数 8 社

3) 中部支部

一愛知，岐阜，三重，静岡

支 部 長：荒川 雅裕（名古屋工業大学）

事 務 局：〒466-8555

名古屋市昭和区御器所町

名古屋工業大学工学部都市社会工学科内

事務局担当者名 荒川 雅裕

TEL：052-735-7408

E-mail：arakawa.masahiro@nitech.ac.jp

<http://www.jimanet.jp/office/branch/chubu/>

- ① 講演会（1 回）

日 時：2019 年 3 月 5 日（火）

会 場：名古屋工業大学 2 号館 2 階 0221 教室

講演 1：

講 師：名古屋工業大学大学院 社会工学専攻
教授 荒川 雅裕 氏

演 題：製造 IoT Sier 育成の必要性和学部学生と社会
人への教育カリキュラムの実践
※事業市場部門研究会との共催

講演 2：

講 師：チェンマイ大学（タイ王国）工学部経営工学科
准教授 Chompoonoot Kasemset 氏

演 題：The Application of Revenue Management in
Chilled Storage Area Allocation: Simulation
Study
※事業市場部門研究会との共催

参加者：13 名

- ② 学生論文発表会（1 回）

日 時：2019 年 3 月 5 日（火）

会 場：名古屋工業大学 2 号館 2 階 0221 教室

発表件数：4 件

参加者：13 名

- ③ 見学会（1 回）

日 時：2019 年 2 月 14 日（木）

会 場：オークマ株式会社 本社工場

（〒480-0193 愛知県丹羽郡大口町

下小口五丁目 25 番地の 1）

※日本設備管理学会東海支部への協賛

- ④ 支部所属会員数（2019 年 3 月末）

正会員数 98 名，名誉会員数 2 名，

学生会員数 15 名，賛助会員数 3 社

4) 北陸支部

一石川，富山，福井，新潟，長野

支 部 長：中野 真（金沢工業大学）

副支部長：石原 正彦（金沢工業大学）

事 務 局：〒921-8501

野々市市扇が丘 7-1

金沢工業大学基礎教育部修学基礎教育課程

事務局担当者名 中野 真

TEL : 076-248-9758
FAX : 076-294-6701
E-mail : mnakano@neptune.kanazawa-it.ac.jp
<http://jima-hokuriku.labos.ac/>

- ① 運営委員会
(ア) 第1回運営委員会
日 時 : 2018年9月1日(土)
会 場 : 石川四高記念文化交流館
出席者 : 8名
- ② 事例研究会((一社)日本生産管理学会中部支部共催)
日 時 : 2018年5月12日(土)
会 場 : 石川県女性センター
講演1 : 北陸ライフサイエンスクラスタープロジェクトの結果報告と今後について
講師1 : 福井幸博(前文科省地域イノベーション戦略プログラムプロジェクトディレクター)
講演2 : 中小製造業のサービス化戦略ー自社にふさわしい新サービス考案方法/働き方改革ー
講師2 : 梅村彰(創和マネジメント)
参加者 : 12名
- ③ 学生論文発表会((一社)日本品質管理学会中部支部共催)
日 時 : 2019年2月25日(日)
会 場 : 金沢勤労者プラザ
発表件数 : 9件
参加者 : 17名
- ④ 支部所属会員数(2019年3月末)
正会員数 40名, 名誉会員数 0名,
学生会員数 1名, 賛助会員数 0社

5) 関西支部

ー大阪, 京都, 兵庫, 和歌山, 奈良, 滋賀
支 部 長 : 椎原 正次(大阪工業大学)
副支部長 : 田村 豊(新日鐵住金株式会社)
事 務 局 : 〒535-8585
大阪市旭区大宮 5-16-1
大阪工業大学工学部環境工学科内
事務局担当者名 皆川 健多郎
TEL : 06-6954-4318
FAX : 06-6952-6197
E-mail : jima.kansai@gmail.com
<https://sites.google.com/site/jimakansai/>

- ① 支部総会
日 時 : 2018年6月23日(土)
会 場 : 梅田阪急ビルオフィスタワー26階会議室
出席者 : 27名
議 題 :
(ア) 2017年度支部事業報告
(イ) 2017年度支部決算報告
(ウ) 2018年度支部事業計画案
(エ) 2018年度支部予算案
(オ) その他
特別講演(日本経営システム学会関西支部・日本セキュリティ・マネジメント学会関西支部研究会共催)
題 名 : 工場の管理運用における自動化・

ICT・IoT化の課題と対策

講 師 : 荒川 雅裕(名古屋工業大学大学院)

- ② 委員会(5回)
(ア) 第1回運営委員会
日 時 : 2018年6月23日(土)
会 場 : 梅田阪急ビルオフィスタワー26階会議室
出席者 : 10名
(イ) 第2回運営委員会
日 時 : 2018年8月28日(火)
会 場 : 大阪工業大学 梅田キャンパス
出席者 : 12名
(ウ) 第3回運営委員会
日 時 : 2018年11月7日(水)
会 場 : アプローチタワー13階貸会議室
出席者 : 9名
(エ) 第4回運営委員会
日 時 : 2018年12月17日(月)
会 場 : 大阪工業大学 梅田キャンパス
出席者 : 8名
(オ) 第5回運営委員会
日 時 : 2019年2月7日(木)
会 場 : 梅田阪急ビルオフィスタワー26階会議室
出席者 : 12名
- ③ セミナー(2回)
(ア) 第1回経営工学セミナー(日本経営システム学会関西支部・日本セキュリティ・マネジメント学会関西支部研究会共催)
日 時 : 2018年11月7日(水)
会 場 : アプローチタワー13階貸会議室
題 名 : ビジネススキルとしての思考法
講 師 : 照屋 哲男(コンサルティング・オフィス フォーパターズ)
題 名 : 組込系ソフトウェアに要求される最新動向と現状
講 師 : 藤原 隆次(SRATECH Lab 株式会社)
出席者 : 29名
(イ) 第2回経営工学セミナー(日本経営システム学会関西支部・日本セキュリティ・マネジメント学会関西支部研究会共催)
日 時 : 2019年2月7日(木)
会 場 : 梅田阪急ビルオフィスタワー26階会議室
題 名 : 民間航空機のORモデル機体構造の最適保全を考える
講 師 : 伊藤 弘道(鳥取大学大学院)
題 名 : SCMの戦略・組織に関する研究
講 師 : 中野 幹久(京都産業大学)
出席者 : 27名
- ④ 見学会(1回)
(ア) 第1回工場見学会(日本設備管理学会関西支部共催)
日 時 : 2018年9月10日(月)
会 場 : (株)大阪チタニウムテクノロジーズ 本社・尼崎工場
参加者 : 18名
- ⑤ 学生論文発表会(1回)
(日本経営システム学会関西支部共催)

日 時：2019 年 2 月 23 日（土）
会 場：龍谷大学 深草キャンパス
発表件数：12 件

特別講演

題 名：社会人としての心構えと今後のキャリア形成
講 師：安久 典宏（キャリア・アナライジング研究
所）

参加者：38 名

- ⑥ 支部所属会員数（2019 年 3 月末）
正会員数 157 名，名誉会員数 5 名，
学生会員数 3 名，賛助会員数 4 社

6) 中国四国支部

一鳥取，島根，岡山，広島，山口，香川，愛媛，高知，徳島

支 部 長：谷崎 隆士（近畿大学）

副支部長：有菌 育生（岡山大学）

森川 克己（広島大学）

増岡 隆弘（マツダ㈱）

監 事：宋 相載（広島工業大学）

錦織 昭峰（県立広島大学）

事 務 局：〒734-8558

広島市南区宇品東 1 丁目 1-71

県立広島大学経営情報学科内

事務局担当者名 広谷 大助

TEL：082-251-9737

FAX：082-251-9405

E-mail：cs.jima@gmail.com

<https://sites.google.com/site/cs.jima/>

- ① 支部総会

日 時：2018 年 5 月 19 日（土）

会 場：サテライトキャンパスひろしま

出席者：20 名（委任状 11 名を含む）

議 題

（ア）2017 年度支部事業報告・決算報告

（イ）支部内規（表彰）の変更

（ウ）2018 年度事業計画・収支予算等

（エ）その他

- ② 支部運営委員会（2 回）

（ア）第 1 回

日 時：2018 年 5 月 19 日（土）

会 場：サテライトキャンパスひろしま

出席者：19 名（委任状 11 名を含む）

（イ）第 2 回

日 時：2019 年 3 月 2 日（土）

会 場：サテライトキャンパスひろしま

出席者：17 名（委任状 8 名を含む）

- ③ 講演会（2 回）

（ア）第 1 回

（広島大学大学院工学研究科・広島大学情報科学部・日本オペレーションズ・リサーチ学会
中国四国支部共催）

日 時：2018 年 6 月 22 日（金）

会 場：広島大学大学院工学研究科棟(C0)

2F 大会議室

参加者：30 名

題 目：Stochastic Processes in Repairable

Systems 他

講 師：木島 正明 氏（広島大学情報科学部
長）他

（イ）第 2 回

日 時：2019 年 3 月 2 日（土）

会 場：サテライトキャンパスひろしま

参加者：35 名

題 目：事例研究からみるオペレーションズ・
リサーチ手法：再訪とその展望

講 師：繁野 麻衣子 氏（筑波大学）

- ④ 国際会議（ICIM2018）（1 回）

日 時：2018 年 9 月 12 日（水）～14 日（金）

会 場：中国・杭州・Holiday Inn Hangzhou City Center

参加者：約 100 名

- ⑤ 勉強会（1 回）

日 時：2018 年 11 月 23 日（金）

会 場：マツダ株式会社

参加者：9 名

- ⑥ 学生論文発表会（1 回）

日 時：2019 年 3 月 2 日（土）

会 場：サテライトキャンパスひろしま

発表件数：15 件

参加者：35 名

- ⑦ 支部表彰

日 時：2019 年 3 月 2 日（土）

会 場：サテライトキャンパスひろしま

優秀研究発表賞：4 件

研究発表賞：11 件

支部長賞：3 件

- ⑧ 支部所属会員数（2019 年 3 月末）

正会員数 73 名，名誉会員数 2 名，

学生会員数 16 名，賛助会員数 1 社

7) 九州支部

一福岡，佐賀，熊本，大分，長崎，宮崎，鹿児島，沖縄

支 部 長：徂徠 三十六（日本文理大学）

副支部長：宋 宇（福岡工業大学）

河内 明人（AK マネジメントパートナー）

事 務 局：〒811-0295

福岡市東区和白東 3-30-1

福岡工業大学情報工学部

システムマネジメント学科内

事務局担当者名 田嶋 拓也（Ms. 道下）

TEL：092-606-5930

FAX：092-606-0756

E-mail：kanjim@fit.ac.jp

<http://www.fit.ac.jp/~t-tajima/JIMA/>

- ① 支部総会

日 時：2018 年 4 月 21 日（土）12:50-13:20

会 場：福岡工業大学 B 棟 8 階演習室 3

参加者：23 名（委任状 12 名を含む）

（ア）議題

A) 会員在籍状況・入退会状況報告

B) 2017 年度事業報告

C) 2017 年度会計（決算）報告

D) 2018 年度事業計画，役員

- E) 2018 年度予算
 F) その他 2018 年度第 2 回研究会についてなど
 G) 総会終了後表彰
 (イ) 意見交換会
- ② 運営委員会（支部幹事会）（3 回）
 (ア) 第 1 回
 日 時：2018 年 7 月 21 日（土）12:00-13:10
 会 場：長崎大学 ICT 基盤センター会議室
 参加者：16 名（委任状 11 名を含む）
 (イ) 第 2 回
 日 時：2018 年 12 月 15 日（土）13:40-14:20
 会 場：西南学院大学学術研究所第 1 会議室
 参加者：15 名（委任状 6 名を含む）
 (ウ) 第 3 回
 日 時：2019 年 5 月 25 日（土）
 会 場：福岡工業大学 B 棟 8 階研究室 1
- ③ 定例セミナー（1 回）
 （協賛 日本生産管理学会九州支部主催）
 日 時：2018 年 12 月 15 日（土）
 会 場：西南学院大学学術研究所第 1 会議室
 第 1 発表 14:30-15:30
 題 名：トラック運送業の人材確保について
 講 師：大塚 淳子（コンサルティング Office ジェイティス）
 第 2 発表 15:40-16:40
 題 名：持続可能なサプライチェーンに関する考察
 講 師：王 曉華（西南学院大学）
 参加者：11 名
- ④ 研究会（2 回）
 (ア) 第 1 回
 日 時：2018 年 4 月 21 日（土）
 会 場：福岡工業大学 B 棟 8 階演習室 3
 第 1 発表：13:30-14:30
 題 名：EV と FCV のインフラ整備における最適配置問題
 講 師：宋 宇（福岡工業大学）
 第 2 発表：14:40-15:40
 題 名：ルールを変更した情報拡散ゲーム～ナッシュ均衡が存在しない場合のグラフへの適用～
 講 師：藤井 秀幸（福岡工業大学）
 第 3 発表：15:50-16:50
 題 名：複合商業施設入館者数の日次時系列データとイベントとの関係性の抽出について
 講 師：山城 興介（日本文理大学）
 参加者：11 名
 (イ) 第 2 回
 日 時：2018 年 7 月 21 日（土）
 場 所：長崎大学 ICT 基盤センターセミナールーム
 第 1 発表 13:20-14:20
 題 名：MAI 仮訳版を用いた大学初年次学生のメタ認知に関する意識調査の試み
 講 師：丹羽 量久（長崎大学）
 第 2 発表 14:30-15:30

題 名：社会における TQM の適用
 講 師：山路 学（長崎総合科学大学）
 第 3 発表 15:40-16:40
 題 名：「多品目多段工程動的ロットサイズスケジューリング問題の実行可能解への収束の加速化」の進捗報告
 講 師：小林 稔（福岡工業大学）
 参加者：9 名

- ⑤ 第 45 回学生論文発表会
 日 時：2019 年 2 月 23 日（土）13:00-16:40
 会 場：福岡工業大学 B 棟 8 階演習室 3
 発表件数：8 件
 参加者：20 名
- ⑥ 見学会
 （日本生産管理学会九州支部（JSPM）と共催）
 日 時：2018 年 8 月 7 日（火）10:30-17:00
 会 場：長崎キャノン株式会社
 参加者：70 名
- ⑦ 学生会講演会
 日 時：2019 年 1 月 24 日（木）14:40-16:10
 会 場：福岡工業大学 A 棟 1F A11 室
 題 名：経営工学的手法を用いた社会事象の最適性について
 講 師：挾間 雅義（宇部工業高等専門学校）
 受講生：80 名
- ⑧ JIMA2019 年春季大会組織委員会
 日 時：2018 年 12 月 15 日（土）12:00-12:30
 会 場：西南学院大学学術研究所第 1 会議室
 参加者：13 名（委任状 6 名を含む）
- ⑨ 支部所属会員数（2019 年 3 月末）
 正会員数 39 名，名誉会員数 0 名，
 学生会員数 2 名，賛助会員数 0 社

（2）研究部門・研究プロジェクト活動：研究委員会

1) 生産・物流部門

（部門長：蓮池 隆）

① 概要

本部門では、サプライチェーンにおける生産・物流に関する課題に対して、調査研究、理論研究および事例研究を通して多角的に取り組み、解決を目指すことを目的とする。今年度は、この目標の達成に向けて、研究部門運営委員会、国際ワークショップ、産学連携ワークショップの活動を行った。さらに、日本型スマート工場の調査を実施し、春季大会でのオーガナイズドセッションおよび日刊工業新聞の『工場管理』の 2018 年 12 月号にて特集を組んで公表した。

② 研究部門活動報告

運営委員会

(ア) 運営委員会

日 時：2019 年 3 月 9 日（土）12:30-13:00
 場 所：ホテルサンルート梅田
 参加者：6 名
 議 題：
 A) 2018 年度生産物流部門活動報告について
 B) 2019 年度生産物流部門活動計画について
 C) その他

- (イ) 国際 WS 運営委員会
 日 時：2019 年 1 月 23 日（水）18:30-20:30
 場 所：ホテル東京ガーデンパレス 芙蓉の間
 参加者：8 名
 議題：
 A) 2018 年度国際 WS 会計報告
 B) 2019 年度国際 WS の計画について
 C) その他

③ 研究成果（研究発表等）

- (ア) 2019 年春季 JIMA 研究部門オーガナイズドセッション
 ～日本型スマート工場の実践例と分析～

- A) 「繋がる工場今野製作所の事例から中小企業の将来を考える」
 翁 嘉華（早稲田大学）
 B) 「三協フロンテアの取り組みから読み解くスマートものづくり・物流」
 蓮池 隆（早稲田大学）
 C) 総合討議

(イ) 第 6 回国際ワークショップ

日 時：2018 年 10 月 13 日（土）～10 月 15 日（月）

場 所：コートヤード・バイ・マリオット 新大阪ステーション

参加者：18 名

基調講演：「Education and Research Collaboration in East Asia」Constantin Siriteanu（Osaka University）

(ウ) 第 6 回産学交流ワークショップ

日 時：2019 年 3 月 9 日（土）

場 所：ホテルサンルート梅田

参加者：13 名

基調講演：「実体験に基づく水事業や CATV 事業等における事業戦略」林田 晋一郎（柳田産業株式会社）

(エ) 日刊工業新聞『工場管理』2018 年 12 月号特集
 ～最新！日本型スマート工場構築の道筋～

- A) 「第 4 次産業革命と工場管理の未来」
 松川 弘明（慶応義塾大学）
 B) 「日本型スマート工場構築の道筋」
 中島 健一（早稲田大学）

C) 事例紹介

「設計と製造をつなげるサイバー・フィジカル・システムの構築で全体最適化を実現 駿河精機」

「IoT を活用した一貫生産思想に基づくビジネスモデルの確立 YKK」

「中小企業のつながる工場 より良い製品・サービス提供の付加価値創出を目指す 今野製作所」

「航空機部品業界におけるスマート共同工場の構築と製造工程のライン化 航空機部品生産共同組合（松阪クラスター）」

「人手不足支援として IoT や AI など先進技術を導入 丸和電子化学」

「モバイルスペースにより実現される資源循環

型ビジネスモデルとスマートモノづくり・物流 三協フロンテア」

2) 事業・市場部門

（部門長：荒川 雅裕）

① 概要

本部門では製造業を対象に事業・市場を創造・維持するための運用方法を IoT や AI の先端技術を利用して構築することを目的とする。具体的には、製造業を対象に PLM や SCM の効率的な運用のための情報システムの設計、開発、運用方法や製品とサービスを混在化した設計・開発を IoT や AI 技術を利用した方法論の提案、それらを実現するための現実場への導入と教育手法の検討などを行う。

本研究部門においては、青山学院ヒューマン・イノベーション・コンサルティング株式会社主催の「未来戦略デザイン推進会議（PSCC-LM）」の研究プロジェクトの一部と連携し、研究を進めている。「未来戦略デザイン推進会議（PSCC-LM）」では製造業（プロジェクトマネジャーなど）、コンサルティング（SI, SE）、大学関係者による研究会を月一回程度開催し、国内外での PLM および IoT や AI 技術について議論するとともに、調査、開発を行っている。この研究会は日本経営工学会会員外を含み、選定を含めた専門技術者による非公開（年 1 回の公開フォーラムあり）の研究会である。また、事業運用のための教育用プログラムを開発し、青山学院大学や名古屋工業大学の学部教育課程、社会人教育課程等に導入、運用、検証を行った。

これらの研究成果は日本経営工学会春季・秋季大会の OS を通して公開している。

② 研究部門活動報告

- (ア) 日本経営工学会 2018 年春季大会（名古屋工業大学）研究部門 OS にて研究報告（OS：1 件，発表：3 件）

OS 名：事業・市場の創造・維持・管理に向けた人材育成の実証

- (イ) 日本経営工学会 2018 年秋季大会（東海大学高輪校舎）研究部門 OS にて研究報告（OS：1 件，発表：3 件）

OS 名：スマート製品サービスとプラットフォームサービスの取り組み

- (ウ) 日本経営工学会 2019 年春季大会（福岡工業大学）研究部門 OS にて研究報告（OS：1 件，発表：3 件）

OS 名：「未来戦略デザイン」事業の取り組み

- (エ) 未来戦略デザイン推進会議の開催（非公開）

（第 1 回）2018 年 4 月 26 日（木），（第 2 回）2018 年 5 月 17 日（木），（第 3 回）2018 年 6 月 21 日（木），（第 4 回）2018 年 7 月 19 日（木），（第 5 回）2018 年 9 月 13 日（木），（第 6 回）2018 年 10 月 18 日（木），（第 7 回）2018 年 11 月 15 日（木），（第 8 回）2018 年 12 月 19 日（水），（第 9 回）2019 年 1 月 17 日（木），（第 10 回）2019 年 2 月 21 日（木），（第 11 回）2019 年 3 月 14 日（木），すべて 18:30-20:30，場所：青学 Hicon セミナールーム

③ 研究成果（研究発表等）

（ア）日本経営工学会 2018 年春季大会

2018 年 5 月 25 日（金）名古屋工業大学

- A) 玉木欽也（青山学院大学），新目真紀（職業能力開発総合大学校），野口新司（青山学院 Hicon）：産学連携による『グローバル製品戦略』授業の開発と実証－PBL とアクティブラーニングを融合したグループワーク実習方法－
- B) 濱口孝司（名古屋工業大学），青山友美（名古屋工業大学），渡辺研司（名古屋工業大学），越島一郎（名古屋工業大学），橋本芳宏（名古屋工業大学）：サイバーセキュリティ人材育成に関する取り組み
- C) 荒川雅裕（名古屋工業大学），今岡太一（名古屋工業大学），松田佳大（名古屋工業大学），鈴木渉（名古屋工業大学）：Kaizen プロセスに基づく生産ラインの自動化・ICT・IoT システムの構築とモジュール化対策

（イ）日本経営工学会 2018 年秋季大会

2018 年 10 月 27 日（土）東海大学高輪校舎

- A) 玉木欽也（青山学院大学），新目真紀（職業能力開発総合大学校），小野好之（青山学院 Hicon）：スマート製品サービスとプラットフォーム・サービスの「未来戦略デザイン・ビジネスプロデューサー」育成プログラムの産学連携研究
- B) 朴英元（埼玉大学），阿部武志（青山学院 Hicon），荒川雅裕（名古屋工業大学），玉木欽也（青山学院大学）：スマート製品サービスとプラットフォームサービス戦略
- C) 荒川雅裕（名古屋工業大学大学院），松田佳大（名古屋工業大学大学院），鈴木渉（名古屋工業大学大学院），和田拓己（名古屋工業大学大学院）：製造 IoT Sier のための教育カリキュラムの構築と学部教育への導入例

（ウ）日本経営工学会 2019 年春季大会

2019 年 3 月 7 日（木）福岡工業大学

- A) 玉木欽也（青山学院大学），新目真紀（職業能力開発総合大学校），小野好之（青山学院 Hicon），野口新司（青山学院 Hicon）：産学官金連携における「未来戦略デザイン」事業構想
- B) 新目真紀（職業能力開発総合大学校），玉木欽也（青山学院大学），小野好之（青山学院 Hicon），野口新司（青山学院 Hicon）：グローバル製品サービス戦略プロデューサーPBL と AL を融合した実習プログラムの授業設計と評価－
- C) 荒川雅裕（名古屋工業大学），松田佳大（名古屋工業大学），鈴木渉（名古屋工業大学），石田健祐（名古屋工業大学），鈴木敦貴（名古屋工業大学），鈴木万裕（名古屋工業大学）：製造 IoT Sier 育成のための教育プログラムの実践－IE と ICT・IoT 構築の融合プログラムについて－

（エ）書 籍

玉木欽也（編集）：未来戦略デザイン・ビジネスプロデューサー（スマート製品サービスとプラットフォーム・サービス），株式会社博進堂（2019/3/15）

3) サービス部門

（部門長：三原 康司）

① 概要

2018 年度は，“サービス”という活動において日本経営工学会のこれまでの研究成果が活用できる新たなテーマ設定のための議論を継続した。サービス生産性、品質といったキーワードを検討し、来年度以降の活動の方向を考察した。

具体的な活動としては、2018 年 5 月と 2019 年 3 月の 2 つの春季大会でのオーガナイズドセッション，2 回のサービス実例講演会，そして定例の研究部門運営委員会を行った。

② 研究部門活動報告

運営委員会

（ア）第 1 回

日 時：2018 年 5 月 8 日（火）

場 所：早稲田大学西早稲田キャンパス

内 容：2017 年度活動報告，2018 年度計画検討，2018 年度春季大会 OS 検討，その他

（イ）第 2 回

日 時：2018 年 8 月 7 日（火）

場 所：早稲田大学西早稲田キャンパス

内 容：春大会 OS 報告，IE 協会全国大会報告，部門テーマ検討，講演会検討，その他

（ウ）第 3 回

日 時：2018 年 10 月 28 日（木）

場 所：東海大学白金キャンパス

内 容：3Q の活動検討，講演会計画，その他

（エ）第 4 回

日 時：2018 年 12 月 26 日（水）

場 所：早稲田大学西早稲田キャンパス

内 容：第 1 回講演会報告，第 2 回講演会検討，春大会 OS 検討，2019 年度事業計画検討，その他

③ 研究成果（研究発表等）

（ア）2018 年春季大会研究部門オーガナイズドセッション

（イ）第 1 回サービス・人間組織部門合同講演会

テーマ：「歯科医療におけるサービス生産性向上」

講演者：内田 佳代 氏 歯科衛生士

日 時：2018 年 11 月 22 日（木）

会 場：早稲田大学西早稲田キャンパス

（ウ）第 2 回サービス・人間組織部門合同講演会

テーマ：「働き方改革」の裏付けとしての生産性向上

講演者：宮崎 敬 氏 株式会社オフィスソリューション 代表取締役

日 時：2019 年 1 月 25 日（金）

会 場：早稲田大学 西早稲田キャンパス

④ 2019 年度計画

（ア）部門基礎

運営委員会：新テーマなどを含む種々の検討を行う（年 3～4 回）

- (イ) 講演会・見学会
経営工学的手法によるサービス現場造りの実
例などに関する講演会あるいは交流会・見学会
開催
- (ウ) 春季大会でのオーガナイズド・セッション

4) 経営情報部門

(部門長：関 庸一)

① 概要

2018 年度の経営情報部門は、前年度に引き続き、経営科学系研究部会連合協議会によるデータ解析コンペティションの一部会として参加し、部門主催の形で「データ解析コンペティション JIMA 予選会」を開催した。今年度は、(株) ビデオリサーチ提供のテレビ視聴履歴等のデータでコンペティションが行われ、合計 15 チームが参加して、データ解析の技術と切り口を競った。聴講者も含め、JIMA 内外からの多くの参加があり、中間発表会、最終成果発表会を通じ、各チームのデータ分析結果を共有すると共に活発な議論を行った。これらの各チームによる分析結果は、各チームより日本経営工学会春季大会等の場で順次発表がなされる予定である。

② 研究部門活動報告

- (ア) 2018 年 11 月 25 日 (日) : データ解析コンペティション JIMA 予選会中間発表会を共催した。
場 所 : 早稲田大学西早稲田キャンパス
参加チーム : 15 チーム
参加者 : 49 名
- (イ) 2019 年 2 月 23 日 (土) : データ解析コンペティション JIMA 予選会最終発表会を主催した。
場 所 : 東海大学高輪キャンパス
参加チーム : 15 チーム
参加者 : 67 名
- (ウ) 2019 年 3 月 18 日 (月) : データ解析コンペティション成果報告会を共催した。JIMA 予選会で勝ち上がった 2 チームが、代表として本選会に参加。なお、この両チームが最優秀賞と優秀賞を獲得した。
場 所 : 中央大学後楽園キャンパス

③ 研究成果 (研究発表等)

- (ア) 2018 年 5 月 日本経営工学会春季大会 経営情報部門オーガナイズドセッション : データ解析コンペティション : 発表 3 件
 - A) 三好 哲也 (阪南大学), 中川 雅央 (滋賀大学) : ヘアサロンの ID-POS データに対する来店期間分析
 - B) 後藤 裕介 (岩手県立大学), 森田 裕之 (大阪府立大学), 白井 康之 (大東文化大学) : 顧客行動解析に基づく店舗間スタッフ移動に関するシミュレーション
 - C) 高橋 啓 (群馬大学) : SOM 上における RFM 分析
- (イ) 2018 年 10 月 日本経営工学会秋季大会 経営情報部門オーガナイズドセッション : ビッグデ

ータ時代のデータ科学教育のパラダイム

- A) 高橋 啓 (群馬大学), 群馬大学におけるデータサイエンス教育の取り組み
- B) 神谷 直樹 (統計数理研究所), データドリブン : 新しい文化の創出
- C) 須子 統太, 小林 学, 堀井 俊佑, 安田 豪毅, 松嶋 敏泰 (早稲田大学), 早稲田大学におけるデータ科学教育の取り組み

5) 経営数理部門

(部門長 : 皆川 健多郎)

① 概要

近年の複雑化した社会において、対象に応じてより適切なコスト管理が必要とされる。またマーケティングについてもベイジアンネットワーク等の新しい手法による実証研究がなされつつある。このようなより複雑化するシステムに対する管理手法とその効果、考察を深めた。

② 研究部門活動報告

- (ア) 2018 年 5 月 26 日 (土) JIMA 春季大会 部門オーガナイズドセッション
 - A) FCV の段階的普及を考慮した水素ステーションの最適配置
宋 宇, 大野 富生 (福岡工業大学), 持田 勲, 中嶋 雅孝, 末津 和典, 朴 玟宣, 賀茂 祐也 ((一 財) 九州環境管理協会), 村岡 文洋 ((株) 宇佐美鉱油)
 - B) 使用済み製品の回収と再資源化に利益損失のリスクを考慮したクローズド・ループ・サプライチェーンの最適運用方策
楠川 恵津子, 山本 将成, 今井 知美 (大阪府立大学)
- (イ) 2019 年 3 月 7 日 (木) JIMA 春季大会 部門オーガナイズドセッション
 - A) 電力自由化を考慮した電力マーケティングの多期間需給確率モデル
孫 晶, 松原 太地, 中出 康一 (名古屋工業大学)
 - B) 容量制約付きフロー捕捉型水素ステーション最適配置問題
宋 宇, 張 凱, 大野 富生 (福岡工業大学)
 - C) 複数の納品と廃棄が行われる商品に対する近似最適発注政策
中出 康一, 寺島 諒 (名古屋工業大学)

6) 人間・組織部門

(部門長 : 西口 宏美)

① 概要

当研究部門では、第 33 期において企業の方をスピーカーとして招き、企業が経営上で抱える問題点について紹介していただき、学界の会員と問題解決の糸口について議論する場として「水曜研究会」を立ち上げた。第 34 期においても、大学に所属するコアメンバーがコーディネーターとなり、同様の趣旨で「研究会」を継続開催することとした。

② 研究部門活動報告

サービス部門と合同で以下の通り運営委員会を開催した。

(ア) 第1回

日 時：2018 年 5 月 8 日（火）
場 所：早稲田大学西早稲田キャンパス
内 容：2017 年度活動報告，2018 年度計画検討，2018 年度春季大会 OS 検討，その他

(イ) 第2回

日 時：2018 年 8 月 7 日（火）
場 所：早稲田大学西早稲田キャンパス
内 容：春大会 OS 報告，IE 協会全国大会報告，部門テーマ検討，講演会検討，その他

(ウ) 第3回

日 時：2018 年 10 月 28 日（日）
場 所：東海大学白金キャンパス
内 容：3Q の活動検討，講演会計画，その他

(エ) 第4回

日 時：2018 年 12 月 26 日（水）
場 所：早稲田大学西早稲田キャンパス
内 容：第1回講演会報告，第2回講演会検討，春大会 OS 検討，2019 年度事業計画検討，その他

③ 研究成果（研究発表等）

サービス部門と合同で研究成果の報告を行った。

(ア) 2018 年春季大会研究部門オーガナイズドセッション

(イ) 第1回サービス・人間組織部門合同講演会
テーマ：「歯科医療におけるサービス生産性向上

講演者：内田 佳代 氏 歯科衛生士

日 時：2018 年 11 月 22 日（木）

会 場：早稲田大学西早稲田キャンパス

(ウ) 第2回サービス・人間組織部門合同講演会

テーマ：「働き方改革」の裏付けとしての生産性向上

講演者：宮崎 敬 氏 株式会社オフィスソリューション 代表取締役

日 時：2019 年 1 月 25 日（金）

会 場：早稲田大学 西早稲田キャンパス

7) 応用データマイニング研究プロジェクト

（主査：石井 康夫）

① 概要

ビッグデータ解析等でデータマイニングは，新たな時代を迎えているといえる。様々なデータをデータマイニングで分析するとともに，ベイジアン・ネットワークでも分析し，比較検討を行うなど，最先端の取り組みをしてゆきたく考えている。メンバーには，大量のアンケート調査データを集めている研究者もいて，そういう意味では，1 年間の短期決戦には向いているといえる。また，TWITTER を分析している研究者もいる。これらの相乗効果も含め，有益な研究活動を行ってゆく。

今年度は，2 回の研究会を実施した。

② 研究プロジェクト活動報告

(ア) 第1回研究会

開催日：2018 年 10 月 20 日（土）13:30～16:30

会 場：摂南大学 寝屋川キャンパス

テーマ1：「ガラス槽窯のシミュレーション」

講演者：ガラス技術研究所 所長 織田健嗣

テーマ2：「ニーズドリブンイノベーションによる産学連携の新たなかたち」

講演者：徳島大学創新教育センター 特任助教 油井 毅

参加者：8 名

(イ) 第2回研究会

開催日：2019 年 3 月 9 日（土）13:30～16:40

会 場：摂南大学 寝屋川キャンパス

テーマ1：「BI クロス分析による戦略テンプレート」

講演者：株式会社コンサルティング・ファーム 代表取締役 松井一夫

テーマ2：「食品スーパー向け AR を活用したクロスメディア戦略」

講演者：有限会社アドバンス代表取締役 渡邊 功

参加者：8 名

③ 研究成果（研究発表等）

(ア) 2018 年日本経営工学会秋季大会オーガナイズドセッション

2018 年日本経営工学会秋季大会で 2 つのオーガナイズドセッションを設け，計 6 件発表

A) 2018 年秋季 JIMA 研究部門 OS 経営数理部門
応用データ分析

座長氏名（所属）：石井 康夫（大和大学）

“Bayesian Network Analysis for the Questionnaire Investigation on Tourists' Behavior”

*油井 毅（徳島大学），大久保 あかね（日本大学短期大学部），鈴木 大介（NPO 法人東海道・吉原宿），竹安 数博（常葉大学）

“伊豆半島の観光魅力度に関する実証的分析”

*石井 康夫（大和大学），大久保 あかね（日本大学短期大学部），竹安 数博（常葉大学）

“Simplified Machine Diagnosis Techniques Using n-th Moment of Absolute Deterioration Factor”

*竹安 数博（常葉大学）

B) 2018 年秋季 JIMA 研究部門 OS 経営数理部門
マーケティング分析

座長氏名（所属）：竹安 数博（常葉大学）

“The Analysis of Hypothesis Testing on Rare Sugars at Kagawa Prefecture in Japan”

*樋口 友紀（摂南大学），竹安 宏匡（香川短期大学），竹安 数博（常葉大学）

“Questionnaire Investigation on Tourists' Behavior and its Sensitivity Analysis By Utilizing Bayesian Network”

*大久保 あかね（日本大学短期大学部），油井 毅（徳島大学），竹安 数博（常葉大学）

“twitter を含む企業各種データを活用した多変量解析とその応用”

- *鈴木 孔明 (株式会社 オンリースカイ), 樋口 友紀 (摂南大学), 竹安 数博 (常葉大学)
- (イ) The 19th Asia Pacific Industrial Engineering and Management Systems conference (APIEMS 2018)
December 5-7, 2018, Hong Kong

APIEMS 2018で3つのオーガナイズドセッションを設け, 12月7日 (金) に13件発表 (*印)

- A) Special Session IV: Marketing Analysis I Chair: Kazuhiro Takeyasu Co-Chair: Koumei Suzuki Room: Victoria Room I

- * “Simplified Machine Diagnosis Techniques with Impact Vibration using n-th Moment of Absolute Deterioration Factor”, Kazuhiro Takeyasu
- * “Principal Component Analysis on the Twitter Data in the Restaurant Industry”, Koumei Suzuki, Yuki Higuchi and Kazuhiro Takeyasu
- * “Forecasting the Daily Transaction Data Utilizing a Day of the Week Index in the Case of The Nail Web Site”, Tomohiro Watanabe and Kazuhiro Takeyasu
- * “Brand Selection in the Airline Ticket Purchasing Case from the Viewpoint of the Feeling of Luxury”, Yuki Higuchi and Kazuhiro Takeyasu
- * “Hypothesis Testing for the Questionnaire Investigation on the Needs and Images at Fuji City in Shizuoka Prefecture”, Daisuke Suzuki, Nao Ogamo, Akane Okubo, Yuki Higuchi and Kazuhiro Takeyasu
- * “An Analysis of the Questionnaire Investigation on the Images at Fuji City”, Kazuhiro Takeyasu, Shiori Abe, Yuki Higuchi, Akane Okubo and Daisuke Suzuki

- B) Special Session V: Marketing Analysis II Chair: Kazuhiro Takeyasu Co-Chair: Akane Okubo Room: Victoria Room I

- * “Bayesian Network Analysis for the Questionnaire Investigation on the Impression at Fuji Shopping Street Town”, Kazuhiro Takeyasu, Marina Miyake, Tsuyosi Aburai, Akane Okubo and Daisuke Suzuki
- * “Bayesian Network Analysis for the Questionnaire Investigation on Tourists’ Behavior”, Tsuyoshi Aburai, Mayu Kubota, Akane Okubo and Kazuhiro Takeyasu
- * “Multivariate Analysis for the Questionnaire Investigation on the Needs at Yoshiwara Shopping Street in Fuji City”, Kazuhiro Takeyasu, Naomi Maruyama, Yuki Yuki Higuchi, Akane Okubo and Daisuke Suzuki
- * “Multivariate Analysis for the Questionnaire Investigation on the Needs at Fuji Shopping Street in Fuji City”, Akane Okubo, Yuki Higuchi, Daisuke Suzuki and Kazuhiro Takeyasu
- * “Questionnaire Investigation on the Needs at Fuji Shopping Street Town and its Sensitivity Analysis Utilizing Bayesian Network”, Daisuke

Suzuki, Akane Okubo, Tsuyosi Aburai and Kazuhiro Takeyasu

- 113 “A Study on Estimation of the Location of Wi-Fi Access point –Case Study of Nagasaki City”, Hiroyoshi Shimizu, Takashi Hasuike and Yu Ichifuji

- C) Special Session VI: Marketing Analysis III Chair: Kazuhiro Takeyasu Co-Chair: Yijia Wang Room: Victoria Room I

- * “Factor Analysis for the Questionnaire Investigation on the Needs at Yoshiwara Shopping Street in Fuji City”, Kiyohisa Ogita, Daisuke Suzuki, Akane Okubo, Yuki Higuchi and Kazuhiro Takeyasu
- * “Simplified Machine Diagnosis Techniques Under The Impact Vibration”, Kanna Nakajima and Kazuhiro Takeyasu

- 249 “Decreasing Characteristics of Passenger on Airplane due to Hokuriku Shinkansen Opening of Business”, Junko Nakamura, Liu Aijun and Takashi Oyabu

- 216 “A Functional Study on Tourism Associations in Japan”, Nanami Mizuguchi, Yauen Tei and Risa Iwasaki

- 170 “Proposal of Indicator Assumed by Zero-Inflated Poisson Distribution for Brand and Category Management”, Masao Ueda

- 95 “Recommendation System by Collaborative Filtering Considering Diverse Information”, Manami Kawasaki and Takashi Hasuike

(ウ) 書籍出版

2018 年 10 月 下記英文学術専門書を発刊。

『Advanced Management Science and Its Applications』
Edited by the Division of Management Mathematics,
Japan Industrial Management Association, Izumi Shuppan, 執筆者全 17 名, 全 15 章, 総頁数 361 頁
なお, 経営数理研究部門からは, 2016 年 9 月下記書籍を発刊している。

『経営科学とその実践的応用』, 公益社団法人日本経営工学会 経営数理研究部門編, 和泉出版 執筆者全 14 名, 全 12 章, 総頁数 282 頁

(エ) 2019 年日本経営工学会秋季大会 オーガナイズドセッション

2019 年日本経営工学会秋季大会でオーガナイズドセッションを持つ予定

(オ) SCIS&ISIS 2019 Jeju オーガナイズドセッション

International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and International Symposium on Advanced Intelligent Systems (SCIS&ISIS 2019)
December 4-7, 2019, Jeju Korea にてオーガナイズドセッションを持つ予定

8) グローバル時代の MOT 研究会

(主査: 西村泰一)

① 概要

グローバル時代の MOT 研究会の主旨はグローバル時のあるべき MOT を追及する事である。

目的は、2 つあり第 1 に産業界から見て魅力ある研究会を目指すこと、第 2 に研究会の内容が産業界からの参加者によって社会貢献につなげることである。

② 研究プロジェクト活動報告

(ア) 第 1 回

開催日：2018 年 7 月 28 日（土）13:30～16:30

会 場：新宿工学院大学 21 階第 5 会議室

テーマ：「IoT 時代における AI 関連特許を活用した企業間の協業推進」

講 師：内閣府知的財産戦略推進事務局

中内 大介 氏

参加者：14 名

(イ) 第 2 回

開催日：2018 年 9 月 8 日（土）13:30～16:30

会 場：新宿工学院大学 21 階第 5 会議室

テーマ：「ADAS から AD へ、自動運転がもたらすビジネスチャンスと日本企業」

講 師：㈱テクノ・システム・リサーチ

岩波 宏幸 氏

参加者：19 名

(ウ) 第 3 回

開催日：2018 年 11 月 10 日（土）13:30～16:30

会 場：新宿工学院大学 21 階第 5 会議室

テーマ：「日本の経営の再考 戦略は組織の強さに従う！」

講 師：国土大学経営学部教授

水野 由香里 氏

参加者：17 名

(エ) 第 4 回

開催日：2019 年 3 月 30 日（土）13:30～16:30

会 場：新宿工学院大学 21 階第 5 会議室

テーマ：「移転価格と BEPS そのポイントを理解しよう！」

講 師：王子ホールディングス㈱ 大塚 伸子 氏

参加者：20 名

③ 研究成果（研究発表等）

2018 年秋季大会において「研究部門 研究プロジェクト中間報告（グローバル時代の MOT 研究会）」として中間報告を行った。

また、毎回の開催概要については当研究会のウェブサイトにおいて報告している（下記サイト参照）。

<https://ft19972012tn.wixsite.com/jima-mot>

表会を主催した。これを通じて、学会内外から解析事例を集め、研究をプロモートした。

② 研究プロジェクト活動報告

(ア) 2018 年 11 月 25 日（日）：データ解析コンペティション JIMA 予選会中間発表会を主催した。

場 所：早稲田大学西早稲田キャンパス

参加チーム：15 チーム

参加者：49 名

(イ) 2019 年 2 月 23 日（土）：データ解析コンペティション JIMA 予選会最終発表会を共催した。

場 所：東海大学高輪キャンパス

参加チーム：15 チーム

参加者：67 名

③ 研究成果（研究発表等）

2019 年秋季大会で、上記のデータ解析コンペティションの研究成果を発表する予定である。

1 0) Web を介した中古衣料品流通における業務改善

（主査：蓮池 隆）

① 概要

中古衣料品業界において、通常の店頭での販売による流通だけでなく、Web を介した流通が拡大しており、取扱量も増加傾向にある。よって、庫内管理から販売価格設定等、経営工学的視点を導入することで課題解決へとつながる可能性が高いことから、実際の企業の庫内に関して、現状把握のための調査を行い、問題点を洗い出すとともに、解決に向けた提案を行った。

② 研究プロジェクト活動報告

(ア) 庫内調査およびディスカッション

実施日：2018 年 11 月 30 日（金）

(イ) 庫内調査を基にした現状把握と問題点の洗い出し、解決に向けたディスカッション

メールで随時実施

③ 研究成果（研究発表等）

(ア) 2018 年秋季大会オーガナイズドセッション～Web を介した中古衣料品流通における業務改善～

A) 「クラウンジュエルの現状とチャレンジ」

岩井 雄作，水上 翔太，片平大輔（株式会社クラウンジュエル）

B) 「経営工学視点からの中古衣料品流通における課題抽出」

蓮池 隆（早稲田大学）

C) 総合討議

9) 大規模経営情報データ解析の実践的研究

（主査：関 庸一）

① 概要

大量に収集される経営情報に対し、実際のデータに基づいた解析事例の作成と新たな方法論の開発を促すことにより、経営情報の解析分野における研究を促進することを目的とし、経営科学系研究部会連合協議会が主催する、「データ解析コンペティション」の予選会を、本学会経営情報部門とともに共催し、中間発

1 1) 集合知メカニズムとその社会実装

（主査：水山 元）

① 概要

「集合知メカニズム」とは、複数人に分散している知識を集約して集合知を形成する仕組みを捉えるためのフレームワークである。これは、直接アクセスすることが困難な、人々の頭の中にある知識をうまく引き出すための、知識提供者とシステムとの間のインタラクション、そのインタラクションを適切に機能させる

ためのインタフェースやインセンティブなどによって規定される。本研究会は、この集合知メカニズムを、ウェブサービスやリサーチの手段として、また、ワークショップや発想支援の基礎として、実際に社会で活用していくための実践的な研究を協働的に進めていくための場としたい。

② 研究プロジェクト活動報告

(ア) 第1回

日 時：2018 年 6 月 7 日（木）18:30～21:00
会 場：青山学院大学 総研ビル 7 階 12 会議室
（東京都渋谷区渋谷 4-4-25）

参加者：7 名
内 容：各メンバーの最近の活動内容の情報共有
今年度の研究会の活動計画

(イ) 第2回

日 時：2018 年 7 月 20 日（金）18:30～21:00
会 場：青山学院大学 総研ビル 7 階 12 会議室
（東京都渋谷区渋谷 4-4-25）

参加者：4 名
内 容：JST 未来社会創造事業の公募の件
その他

(ウ) 第3回

日 時：2018 年 9 月 1 日（土）～2 日（日）
会 場：弘前大学創立 50 周年記念館 会議室 2
（青森県弘前市文京町 1）

参加者：6 名
内 容：各メンバーからの研究発表とディスカッション
JST 未来社会創造事業の公募の件
秋季大会での OS について
SICE SSI 2018 での SS について
今後の活動計画について

(エ) 第4回

日 時：2018 年 12 月 15 日（土）16:30～18:30
会 場：早稲田大学早稲田キャンパス 11 号館
508 室（新宿区西早稲田 1-6-1）

参加者：11 名
発 表：House Allocation with Overlapping Generations
栗野盛光（慶應義塾大学経済学部教授）

(オ) 第5回

日 時：2019 年 3 月 4 日（月）18:00～20:30
会 場：早稲田大学早稲田キャンパス 11 号館
第 4 会議室（新宿区西早稲田 1-6-1）

参加者：11 名
発 表：「サーキュラーエコノミーのゲーム理論的フレームワークの構築と循環メカニズムの分析」
西野成昭（東京大学大学院工学系研究科）

(カ) 第6回

日 時：2019 年 3 月 23 日（土）13:00～17:00
会 場：早稲田大学早稲田キャンパス 11 号館
605 室（新宿区西早稲田 1-6-1）

参加者：6 名

内 容：集合知メカニズムのメカニズムデザインの発展形としての定式化についてのディスカッション、および来年度の活動計画について

③ 研究成果（研究発表等）

JIMA 春季大会でのオーガナイズドセッション
SICE SSI 2018 でのスペシャルセッション
JIMA 秋季大会でのオーガナイズドセッション

(3) 産学連携研究交流会：企画・行事委員会

1) 目的：

経済社会のグローバル化が急速に進む中、生産企業は新たな時代にいかに関与力を高めていくか、多くの課題の中で模索し、一方で経営工学は、企業の経営課題を解決するための工学的アプローチとして、その理論を深耕し、企業での適用事例を蓄積してきたが、時代の変化が加速する中、その役割を周知すると共に、産業界のニーズに対応して理論体系を高度化していく必要がある。本研究交流会では、産業界と学界が日本のモノづくり活性化のために一体となって交流、議論、研究し、経営工学・IE の見方・考え方で日本のモノづくりに貢献することを目的にしている。

2) 開催内容：

本研究交流会は 4 つのテーマに分かれ、その各分科会では、単なる見学に留まらず、大学教員による講義・企業事例の分析、見学企業での分析と検証という 3 回をセットとして開催した。

本年度は第 3 期分科会 3、4 及び開催期を学会年度と合わせるために追加分科会として分科会 5、6 を企画、結果として分科会 3、4、6 を開催した（分科会 5 は応募者少により 2019 年度第 4 期に延期）。

① 第 3 期 分科会 3：IT/ICT の活用 参加者：21 名

(ア) 第 1 回

開催日：2018 年 4 月 23 日（月）13:00-17:30

場 所：成蹊大学

企業改善事例紹介：PTC ジャパン(株)

「IoT/AR を活用した工場管理のみらい像」

大学研究事例紹介：電気通信大学准教授

山田 哲男 氏

「環境経営情報によるグローバルサプライ・再製造チェーンの設計と課題 ～環境から介護・育児化で、社会課題への経営情報活用方法～」

(イ) 第 2 回

開催日：2018 年 5 月 21 日（月）13:00-17:00

場 所：滋賀県草津市

企業訪問・見学：パナソニック(株) 草津工場

「スマート工場の取り組み」

(ウ) 第 3 回

開催日：2018 年 6 月 25 日（月）13:00-17:00

場 所：大阪工業大学

企業改善事例紹介：パナソニックソリューションテクノロジー(株)

「小さく始める製造現場の ICT 化」

大学研究事例紹介：山形県立産業技術短期大学
校准教授 山口 俊憲 氏

「生産改善におけるツールとしてのICT活用を考える」

② 第3期 分科会4：品質と効率の改善方法 参加者：20名

(ア) 第1回

開催日：2018年6月8日（金）13:00-17:30

場 所：成蹊大学

大学研究事例紹介：成蹊大学教授

篠田 心治 氏

「品質と効率の改善について」

企業改善事例紹介：AGC(株)

「良品条件の追求事例と教育方法」

大学研究事例紹介：成蹊大学助教 中嶋 良介 氏

「周辺視野を活用した目視検査の実態と理論」

(イ) 第2回

開催日：2018年7月20日（金）13:00-17:00

場 所：神奈川県南足柄市

企業訪問・見学：富士ゼロックスマニュファク

チュアリング(株) 竹松事業所

「品質と効率の改善実践工場」

(ウ) 第3回

開催日：2018年8月31日（金）13:00～17:00

場 所：成蹊大学

企業改善事例紹介：マックス(株)

「価値作業の連続と製造品質の安定化」

大学研究事例紹介：名古屋工業大学准教授

川村 大伸 氏

「品質管理の勘所」

③ 第3期 分科会6：改善活動を発展させるためにIoTの基本構造を座学と演習から学ぶ 参加者：9名

(ア) 第1回

開催日：2019年1月23日（水）13:00-18:00

場 所：栃木県小山市

企業訪問・見学：富士通(株) 小山工場

富士通テレコムネットワークス(株)

「IoTを活用した工場全体の見える化と生産性向上活動」

(イ) 第2回

開催日：2019年2月22日（金）10:30-16:45

IoTとプラットフォームの基本操作の実習とグループディスカッション

場 所：青山学院 Hicon

指導講師：青山学院大学教授 玉木 欽也 氏

／青山学院 Hicon 小野 好之 氏

(ウ) 第3回

開催日：2019年3月26日（火）13:00-17:20

自らの生産現場をデジタル化した未来像を描くグループワーク

場 所：青山学院 Hicon

指導講師：青山学院大学教授 玉木 欽也 氏

／青山学院 Hicon 小野 好之 氏

催・協賛・関連行事のご案内」のページおよびメルマガに掲載した。なお、48件中FMES協賛覚書準拠の案件が16件、国際会議が2件であった。

(2) IFPR (ICPR) および IFPR-APR との連携

1) 第22回 IFPR-APR2018 (Hong Kong, China) 報告のHP掲載

2) 第25回 ICPR (Chicago, USA) 開催予定のHP掲載

(3) APIEMS との連携

1) 第19回 APIEMS の開催のHP更新

2) 第19回 APIEMS2018 理事会報告のHP掲載

3) 第20回 APIEMS2019 (金沢) 開催予定のHP掲載

4) 第20回 APIEMS2019 (金沢) 組織委員会とJIMAとの窓口業務

(4) 経営工学関連学会協議会 (FMES) 及び日本技術者認定機構 (JABEE) への協力

FMESには、代表者として学会理事である大久保寛基（東京都市大学）、中島健一（早稲田大学）を、FMES/JABEE委員に渡邊一衛（成蹊大学）、中島健一（早稲田大学）を、FMESシンポジウム委員に伊呂原隆（上智大学）、翁嘉華（早稲田大学）にそれぞれ参画頂いた（敬称略）。

(5) 横幹連合、日本工学教育協会、経営関連学会協議会との連携支援

上記3団体に対し、JIMAの会員継続手続きを行い各団体の最新情報を専用ホームページで提供した。

横幹連合の理事に皆川健多郎（大阪工業大学）、代議員に後藤正幸（早稲田大学）、日本工学教育協会連合講演会の実行委員に三林洋介（都立産業技術高等専門学校）、経営関連学会協議会評議員に開沼泰隆（首都大学東京）、降旗徹馬（高千穂大学）に参画頂いた（敬称略）。

(6) 日本IE協会、日本技術士会との3団体連携事業への協力、ConCom2018協賛に伴う協力支援を行った。

〔VI〕 その他前条の目的を達成するために必要な事業

（定款第4条第6号）

特になし

〔V〕 内外の関連機関との連携及び交流（定款第4条第5号）

活動報告

（1）国際会議及び協賛学会情報の提供

国内外での開催会議48件の協賛承認を行い、「共

6. 1. 2 処務の概要

〔Ⅰ〕 役員等に関する事項

2019 年 3 月末現在

職 名	常非別	氏 名	就任（重任）年月日	担当職務	報酬	現 職	備考
会 長	非常勤	石井和克	2017 年 5 月 27 日	業務の総括	無	金沢工業大学	
副会長	〃	開沼泰隆	〃	会長の補佐兼財務	〃	首都大学東京	
副会長	〃	内田耕平	〃	会長の補佐兼会員	〃	AGC	
理 事	〃	大久保寛基	〃	支部	〃	東京都市大学	
理 事	〃	外館晃	〃	企画・行事	〃	(株)ブリヂストン	
理 事	〃	中出康一	〃	研究・表彰	〃	名古屋工業大学	
理 事	〃	西岡久充	〃	庶務	〃	龍谷大学	
理 事	〃	八木英一郎	〃	大会	〃	東海大学	
理 事	〃	片岡隆之	〃	システム誌編集	〃	近畿大学	
理 事	〃	西村泰一	〃	人材育成	〃	HOYA(株)	
理 事	〃	辻村泰寛	〃	論文誌編集	〃	日本工業大学	
理 事	〃	中島健一	〃	国際渉外	〃	早稲田大学	
監 事	〃	河野宏和	〃	監事	〃	慶應義塾大学	
監 事	〃	皆川健多郎	〃	監事	〃	大阪工業大学	

〔Ⅱ〕 職員に関する事項

2019 年 3 月末現在

なし

2018 年度社員（会員）異動状況報告書
(2019 年 3 月 31 日現在)

2019 年 3 月末社員数 38

2018 年 3 月末社員数 38

増減数 0

支部	正会員	正会員 (賛助代表)	学生会員	賛助会員	名誉会員	支部計
東北・北海道	35	0	4	0	0	39
関東	588	4	137	8	18	755
中部	97	1	15	3	2	118
北陸	40	0	1	0	0	41
関西	156	1	3	4	5	169
中国四国	72	1	16	1	2	92
九州	39	0	2	0	0	41
海外	2					2
合計	1,029	7	178	16社/17口	27	1,257
前年度末	1,083	7	136	16社/17口	27	1,269
増減	-54	0	42	0社/0口	0	-12

〔Ⅲ〕 会議等に関する事項

（１）理事会

１）第34期第6回理事会

開催日：2018年5月12日（土）14:00-17:20

場 所：東京都市大学渋谷サテライトクラス

議決事項：

- ① 第34期第5回理事会議事録の確認の件
 - ② 入会承認の件
 - ③ 会員細則改定の件
- 以上3件について全会一致で承認した。

協議事項：

- ① 覚書のHP等の公開について
- ② 会員情報の会員内公開/非公開の設定について（MY PAGE）
- ③ 会員増員へのアクションプランの検討
- ④ 春季大会での参加者へのアンケート内容について
- ⑤ 行事参加者へのアンケートとJIMA紹介パンフレットについて
- ⑥ 第4回産学連携研究交流会について
- ⑦ 日本経営工学会論文誌「産学連携特集論文」募集の提案

以上7件について協議した。報告事項は12件である。

２）第34期第7回理事会

開催日：2018年7月7日（土）14:00-18:20

場 所：東京都市大学渋谷サテライトクラス

議決事項：

- ① 第34期第6回理事会議事録の確認の件
- ② 入会承認の件
- ③ 2018年春季大会 Best Presentation Award の件
- ④ 2018年秋季大会における「（仮）学生版技術士を目指す説明会」開催の件

以上4件について全会一致で承認した。

協議事項：

- ① 次期役員・代議員選挙について
- ② ConCom 活動概要とこれを協賛する案件について
- ③ 各研究部門の英語呼称について
- ④ 2018年度の表彰スケジュールについて
- ⑤ 優秀学生賞について
- ⑥ 2019年秋季大会について
- ⑦ 大会予稿集の電子化について
- ⑧ 財務状況健全化のための検討結果について

以上8件について協議した。報告事項は13件である。

３）第34期第8回理事会

開催日：2018年9月15日（土）13:55-17:05

場 所：東京都市大学渋谷サテライトクラス

議決事項：

- ① 第34期第7回理事会議事録の確認の件
 - ② 入会承認の件
 - ③ 次期役員、代議員選挙の件
- 以上3件について全会一致で承認した。

協議事項：

- ① 70周年事業準備委員会設置について
- ② 寄付行為に対する対応処理について
- ③ 理事会みなし決議における利害関係者について
- ④ 賛助会員数を増やすためのアクションプランの検討
- ⑤ 大会細則の改訂について
- ⑥ IIIIE との連携について
- ⑦ Best presentation award の審査基準等について

以上7件について協議した。報告事項は9件である。

４）第34期第9回理事会

開催日：2018年10月28日（日）15:30-17:00

場 所：東海大学高輪キャンパス 1号館 2階 1-2 会議室

議決事項：

- ① 第34期第8回理事会議事録の確認の件
 - ② 2018年秋季大会 Best Presentation Award の件
- 以上2件について全会一致で承認した。

協議事項：

- ① 自然災害の被災会員に対する措置等に関して
 - ② ConCom 活動協賛内容について
- 以上2件について協議した。報告事項は8件である。

５）第34期第10回理事会

開催日：2019年1月12日（土）13:52-18:15

場 所：東京都市大学渋谷サテライトクラス

議決事項：

- ① 第34期第9回理事会議事録の確認の件
 - ② 入会承認の件
 - ③ 2018年度表彰の件
 - ④ 産学連携研究交流会第3回分科会5の例会3（ブリヂストン鳥栖工場見学）の取り扱いの件
- 以上4件について全会一致で承認した。

協議事項：

- ① 2019年度予算案について
 - ② 2019年度事業計画案について
 - ③ 2019年度定時総会日時について
 - ④ 寄附に対する規程整備について
 - ⑤ 3月大会参加の際の会員資格について
 - ⑥ APIEMS2019への対応について
 - ⑦ 産学連携研究交流会第4回分科会4について
- 以上7件について協議した。報告事項は15件である。

６）第34期第11回理事会

開催日：2019年3月2日（土）14:00-17:37

場 所：東京都市大学渋谷サテライトクラス

議決事項：

- ① 第34期第10回理事会議事録の確認の件
 - ② 入会・会員権利喪失承認の件
 - ③ 名誉会員推戴候補者の件
 - ④ 2019年度定時総会開催の件
 - ⑤ 2019年度事業計画案の件
 - ⑥ 国際文献社との契約更新の件
- 以上6件について全会一致で承認した。

協議事項：

- ① J-Stage 投稿審査システムの導入について
- ② 2019 年度予算案について
- ③ 寄附金等取扱細則について
- ④ 2020 年春季大会の秋田県立大学との共催について
- ⑤ APIEMS2019 について

以上 5 件について協議した。報告事項は 10 件である。

(2) 理事会みなし決議

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第九十六条「理事会の決議の省略」に基づき、以下のみなし決議を行なった。

1) 2017 年度事業報告及び決算承認の件

開催日：2018 年 4 月 24 日（火）～4 月 25 日（水）

提案に対し、2018 年 4 月 25 日、理事の全員からの同意及び監事の異見表明がないことの意味表示を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第九十六条に基づき、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

2) EAWIE 運営委員会の設置及び運営委員会委員候補者の推薦の件

開催日：2018 年 8 月 2 日（木）～8 月 9 日（木）

提案に対し、2018 年 8 月 9 日、議決に加わることでできる理事の全員からの同意及び監事の異見表明がないことの意味表示を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第九十六条に基づき、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

3) 入会承認の件

開催日：2018 年 10 月 10 日（水）～10 月 22 日（月）

提案に対し、2018 年 10 月 22 日、理事の全員からの同意及び監事の異見表明がないことの意味表示を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第九十六条に基づき、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

4) 2019 年度予算案、理事及び監事に対する報酬等の支給基準の改定及び 2019 年春季大会の Best Presentation Award の件

開催日：2019 年 3 月 18 日（月）～3 月 25 日（月）

提案に対し、2019 年 3 月 25 日、理事の全員からの同意及び監事の異見表明がないことの意味表示を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第九十六条に基づき、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

(3) 総会

2018 年度定時総会

2018 年春季大会において開催され、以下の報告・審議が行われた。

開催日：2018 年 5 月 26 日（土）9:00-9:43

場 所：名古屋工業大学御器所キャンパス 52 号館 5211 教室

報告事項：

- ① 2017 年度事業報告、学会賞・論文賞・論文奨励賞・特別賞報告及び収支決算報告
- ② 監査報告
- ③ 2018 年度事業計画、収支予算報告
- ④ 会費滞納者権利停止・会員資格喪失予告の件

審議事項：

第一号議案 2017 年度事業報告及び収支決算報告の件

第二号議案 規則制定及び改定の件

第三号議案 名誉会員推戴の件

(4) 各種委員会

1) 庶務委員会

理 事：西岡 久充

委員長：西岡 久充

委 員：中嶋 良介、肥田 拓哉、降旗 徹馬、
北條 仁志、松林 伸生

① 活動報告

- (ア) 2018 年度定時総会の運営や議事録作成などを行った。
- (イ) 第 34 期理事会の運営や資料作成、議事録作成などを行った。
- (ウ) メールマガジン（毎月 1 日、15 日発行）の掲載依頼内容及び事務局が作成した記事内容を確認するとともに、事務局への配信依頼を行った。
- (エ) 各種委員会や研究部門・研究プロジェクト、あるいは公募情報などのホームページ掲載依頼を集約し、事務局へ更新を依頼するとともに、依頼者への更新結果の連絡なども行った。
- (オ) 経営システム誌編集委員会と経営システム電子版のログ分析などに向けた検討を進めた。
- (カ) 業務委託内容を精査し、事務局に依存しない学会運営を検討するとともに、無駄の削減を行い、次年度の国際文献社との契約や予算案に反映させた。
- (キ) 事業計画書及び事業報告書の取りまとめや確認を行った。
- (ク) 次期役員および代議員選挙の実施に際して、選挙委員会及び代議員推薦委員会を組織するとともに、両委員会に対して規則のポイントの説明や選挙日程案の例示等を行った。

② 委員会の開催

(ア) 第 34 期第 1 回委員会

開催日：2018 年 9 月 19 日（水）

場 所：メール審議

議 題：

A) 自然災害に対するお見舞いメッセージのホームページへの掲載について

出席者：6 名

2) 研究委員会

理 事：中出 康一

委員長：蓮池 隆

委員：荒川 雅裕，加藤 麻樹，関 庸一，
孫 晶，三原 康司，木内 正光，
佐藤 公俊

① 活動報告

2018 年 5 月の春季大会，2019 年 3 月の春季大会において，研究部門が OS (Organized Session) を開催した。また，2018 年 10 月の秋季大会では研究プロヘクトが OS を開催した。

② 委員会の開催

(ア) 第 1 回

開催日：2018 年 5 月 26 日 (金) 12:30-13:30

場 所：名古屋工業大学 御器所キャンパス

議 題：

- A) JIS 改訂について
- B) 産学連携について
- C) プロジェクトの評価について
- D) その他

出席者：中出，蓮池，関 (3 名)

3) 日本経営工学会論文誌編集委員会

理 事：辻村 泰寛

委員長：加藤 麻樹

副委員長：秋葉 知昭，西口 宏美

委員：河合 亜矢子，神田 幸治，倉田 久，高橋 雄三，滝 聖子，竹野 健夫，竹本 康彦，中村 肇，丸山 友希夫，山下 遥，山本 久志

① 日本経営工学会論文誌 (Journal of Japan Industrial Management Association) 和文号，Vol.6, No.1~No.4, 2E, 4E を発行した。

② 第 34 期編集委員会の体制として，2018 年度の編集委員会を以下のように開催し，論文の査読状況を確認するとともに，編集方針等の各議題について協議した。

(ア) 第 6 回 委員会

開催日：2018 年 5 月 26 日 (火) 12:00-13:00

場 所：名古屋工業大学

議 題：

- A) 査読進捗状況の確認
- B) 査読エリアの検討
- C) その他 (意見交換)

(イ) 第 7 回 委員会

開催日：2017 年 8 月 29 日 (水) 18:00~19:00

場 所：学会誌刊行センター会議室

議 題：

- A) 査読進捗状況の確認
- B) 査読の秘匿義務について
- C) AE の重複担当数について
- D) Microsoft Word 数式エディタについて
- E) J-Stage の利用規約改定について
- F) 査読フローの改定について
- G) 論文チェックシートの改定について

(ウ) 第 8 回 委員会

開催日：2018 年 10 月 27 日 (土) 18:00~19:30

場 所：東海大学高輪キャンパス

議 題：

A) Microsoft Word 数式エディタについて

B) 投稿区分の見直しについて

C) 査読依頼文書について

D) 査読結果の現状について

E) J-STAGE 投稿審査システムの申請について

F) 特集論文の取り扱いについて

G) その他

(エ) 第 9 回 委員会

開催日：2018 年 12 月 17 日 (月) 18:00-20:00

場 所：学会誌刊行センター会議室

議 題：

- A) 査読進捗状況の確認
- B) 投稿件数について
- C) JSTAGE 投稿システムについて
- D) 論文誌のデジタル化について
- E) その他

(オ) 第 10 回 委員会

開催日：2019 年 3 月 11 日 (月) 18:00-20:00

場 所：学会誌刊行センター会議室

議 題：

- A) 査読進捗状況の確認
- B) 2019 年度予算について
- C) JSTAGE 投稿システムについて
- D) 論文誌のデジタル化について
- E) その他

③ JStage による web を使用した論文投稿システム申請が採択され，2019 年 4 月よりオンラインで論文投稿を可能にするための JStage ならびに担当企業 ATLAS(株)との打ち合わせを行った。4 月 1 日 (月) よりシステムの正式運用が始まった。

4) 企画行事委員会

理 事：外館 晃

委員長：斎藤 文

委員：篠田 心治，高田 淳，西村 泰一

産学連携研究交流会の企画・運営が主な活動である。なお，産学連携研究交流会は日本 IE 協会 (JIIE) 共催事業であり，企画・運営にも参画頂いている。

① 第 3 期産学連携研究交流会の開催・運営

(詳細は P14，連携研究交流会を参照)

(ア) 分科会 3 (2018 年 4・5・6 月)

(イ) 分科会 4 (2018 年 6・7・8 月)

(ウ) 分科会 6 (2019 年 1・2・3 月)

② 会合の開催

産学連携研究交流会企画・運営協議がメインの議題である。担当理事が委員及び関連メンバーとメールで事前に意見収集/調整，それを踏まえて委員が JIIE と会合を実施した。

(ア) 第 1 回会合

開催日：2018 年 5 月 26 日 (金) 13:00-14:00

場 所：名古屋工業大学 (2018 年春季大会にて実施)

議 題：第 4 期産学連携研究交流会の企画 (日程，テーマ，コーディネータ等)

出席者：企画・行事委員 3 名，JIIE 2 名

(イ) 第 2 回会合

開催日：2018年6月23日（土）10:00-12:00
 場 所：日本IE協会（永田町）
 議 題：2018年度の2分科会の企画（開催期と会計年度を合わせるため、第3期の追加分科会として開催）
 出席者：企画・行事委員4名、JIIE2名
 (ウ) 第3回会合
 開催日：2018年9月13日（木）17:30-19:00
 場 所：日本IE協会（永田町）
 議 題：第3期追加2分科会の企画・準備進捗確認、理事会報告資料確認、第4期（2019年度開催）企画草案協議
 出席者：企画・行事委員4名、JIIE3名
 (エ) 第4回会合
 開催日：2018年9月28日（金）17:30-19:00
 場 所：日本IE協会（永田町）
 議 題：第3期追加2分科会の企画・準備進捗確認
 出席者：企画・行事委員3名、JIIE3名
 (オ) 第5回会合
 開催日：2018年10月23日（火）17:30-19:00
 場 所：日本IE協会（永田町）
 議 題：第3期追加2分科会の企画・準備進捗確認、第4期企画協議（日程、テーマ、コーディネータ等）
 出席者：企画・行事委員4名、JIIE3名
 (カ) 第6回会合
 開催日：2018年11月27日（火）17:30-19:00
 場 所：日本IE協会（永田町）
 議 題：第3期追加2分科会の企画・準備進捗確認、第4期企画協議
 出席者：企画・行事委員4名、JIIE3名
 (キ) 第7回会合
 開催日：2018年12月21日（金）17:30-19:00
 場 所：日本IE協会（永田町）
 議 題：第3期追加分科会の準備進捗確認（分科会5の第4期への延期決定）、第4期企画協議、2019年度事業計画案・予算案確認
 出席者：企画・行事委員3名、JIIE2名
 (ク) 第8回会合
 開催日：2019年1月15日（火）17:30-19:00
 場 所：日本IE協会（永田町）
 議 題：第3期追加分科会の開催状況・準備進捗確認、第4期企画協議、会員増に向けた施策協議
 出席者：企画・行事委員3名、JIIE3名
 (ケ) 第9回会合
 開催日：2019年2月26日（火）17:30-19:00
 場 所：日本IE協会（永田町）
 議 題：第3期追加分科会の開催状況確認、第4期企画・準備状況確認、理事会報告資料共有化
 出席者：企画・行事委員4名、JIIE3名
 (コ) 第10回会合
 開催日：2019年3月7日（木）12:00-13:30
 場 所：福岡工業大学（2019春季大会にて実施）
 議 題：第4期企画・準備状況確認、理事会報告フ

ィードバック

出席者：企画・行事委員3名、JIIE2名

5) 人材育成委員会

理 事：西村 泰一

委員長：箕 宗徳

委 員：渡邊 一衛、玉木 欽也、熊坂 治、
 島田 豊（：オブザーバー）

① 委員会の開催

(ア) 第2回人材育成委員会

開催日：2018年5月26日（土）12:05-12:55

場 所：名古屋工業大学 J会場

出席者：渡邊、島田、西村

議 題：

A) JIMA 会員増に向けて、人材育成委員会単独で出来る案の経緯報告

B) 今年度の人材育成委員会活動、その他

(イ) 第3回人材育成委員会

開催日：2018年9月9日（土）15:00-17:00

場 所：青山学院大学アイビーホール喫茶室

出席者：箕、西村

議 題：

A) 人材育成委員会行事の意見交換

B) 秋季大会特別セッション打合せ

(ウ) 第4回人材育成委員会

開催日：2018年10月27日（土）12:00-13:00

場 所：東海大学高輪キャンパス D会場

出席者：箕、渡邊、玉木、熊坂、島田、西村

議 題：

A) 第34期理事会4～6回目の概要報告

B) 会員増アクションプラン進捗説明

C) 人材育成委員会行事の意見交換

(エ) 第5回人材育成委員会

開催日：2019年3月7日（土）15:20-16:20

場 所：福岡工業大学 A棟学生ホール

出席者：箕、西村

議 題：

A) 来年度以降の人材育成委員会活動の意見交換

B) 実践教育プログラムの再構成について

(オ) 非定期の委員会審議/情報交換（メールによる）

A) JIMA 秋季大会での特別セッションの意義、進め方の意見交換（2018年4月～9月）

B) 会員増アクションプラン進捗確認（2018年5月～3月）

C) 人材育成委員会プレゼン資料の推敲（2018年7月～12月）

② 実践教育プログラム

(ア) 今年度の開催は未開催

(イ) 日本IE協会主催の工場見学会への参加

日本IE協会との連携事業として、現場研修会を計画し、2018年度は合計4回を設定

A) 2018年5月16日（水）：参加5名
 (株)日立産機システム

B) 2018年9月10日（月）：参加0名
 イビデン(株)本社・大垣事業所

C) 2018年11月14日（水）：参加0名

- GE ヘルスケア・ジャパン(株)日野工場
D) 2019 年 4 月 23 日 (火) : 参加予定 5 名
(株)アッカ・インターナショナル
- ③ 「技術士を目指そう」説明会
(ア) JIMA 秋季大会にて特別セッション開催
開催日 : 2018 年 10 月 27 日 (土) 10:30-12:00
場 所 : 東海大学高輪キャンパス D 会場
参加者 : 48 名
内 容 :
A) JIMA の活動紹介
B) 技術士制度について
C) (若手) 修習技術者からの説明
D) (ミドル) 企業内技術士からの説明
E) (シニア) 企業内技術士からの説明
F) 質疑応答, 意見交換等
(イ) 「技術士を目指そう」説明会 東京
経営工学 3 団体連携による説明会を開催
開催日 : 2018 年 12 月 8 日 (土) 13:30-16:30
場 所 : 青山学院大学
参加者 : 37 名
内 容 :
A) 技術士制度について
B) 技術士資格取得のメリット
C) 試験内容と受験準備のポイント
D) 技術士取得に際しての JIMA サポート
E) 専門グループ別相談・アドバイス
(ウ) 「技術士を目指そう」説明会 関西は開催を見送り

6) 会員委員会

- 理 事 : 内田 耕平
委員長 : 辛島 光彦
委 員 : 笠松 慶子, 田畑 智章, 外館 晃
- ① 委員会の開催
(ア) 第 2 回会員委員会 (支部委員会と合同開催)
開催日 : 2018 年 5 月 26 日 (土) 12:35-13:20
場 所 : 名古屋工業大学内 会議室
出席者 : 石井, 辛島, 田畑, 外館, 内田, 皆川, 荒川, 熊谷, 大久保の 9 名
議 題 :
A) JIMA の財務状況
B) JIMA の会員数動向
C) 支部活動の意義と期待
D) 会員増加に関するアンケート実施
E) 事務処理作業量の簡素化への取り組み
F) 各支部のイベント, セミナーのひな型作成
G) 支部活動活性化, 会員増員プランに関する意見交換
H) 産業界との連携を強める方法検討
(イ) 第 3 回会員委員会
開催日 : 2018 年 10 月 27 日 (土) 12:05-12:50
場 所 : 東海大学高輪キャンパス内 会議室
出席者 : 辛島, 外館, 笠松, 田畑, 内田の 5 名
議 題 :
A) 会員委員会事務局委託費の削減検討
B) 会員数増員, 魅力ある JIMA にするための

- 会員委員会のアクションプランについて
C) My Page の機能拡張案
D) 賛助会員の入会促進
(ウ) 第 4 回会員委員会
開催日 : 2019 年 3 月 7 日 (木) 12:05-12:55
場 所 : 福岡工業大学内 会議室
出席者 : 辛島, 田畑, 内田の 3 名
議 題 :
A) 会員数増員, 魅力ある JIMA にするための会員委員会のアクションについて
B) 会員委員会とりまとめの JIMA アクションプラン (他委員会主催) について
C) 会員制度改善の検討
D) 次期会員委員会への引継ぎ事項
- ② 非定期の委員会審議/情報交換
開催日 : 随時
場 所 : メールによる審議/情報交換
活動内容 :
A) 入退会申請の確認, 事務局への問い合わせ
B) 名誉会員候補者の確認, 理事会への審議提案
C) 会費未納会員に関する確認, 督促の指示
- ③ 会員情報原本管理
A) セキュリティ上の管理
B) 会員情報の整合性管理

7) 財務委員会

- 理 事 : 開沼 泰隆
委員長 : 葛山 康典
委 員 : 阿部 圭司, 降旗 徹馬
- ① 第 1 回委員会
開催日 : 2018 年 4 月 20 日 (金)
場 所 : メール審議
議 題 :
(ア) 2018 年度「財務委員会」の活動計画について
(イ) 2017 年度「予算／実算」報告について
- ② 第 2 回委員会
開催日 : 2018 年 9 月 28 日 (金)
場 所 : メール審議
議 題 :
(ア) 財務状況の検討及び事務局予算の検討
- ③ 第 3 回委員会
開催日 : 2019 年 2 月 13 日 (水)
場 所 : メール審議
議 題 :
(ア) 2019 年度予算案の検討
- ④ 第 4 回委員会
開催日 : 2019 年 3 月 15 日 (金)
場 所 : メール審議
議 題 :
(ア) 2019 年度予算案決定

8) 表彰委員会

- 理 事 : 中出 康一
委員長 : 松川 弘明
委 員 : 辻村 泰寛, 片岡 隆之, 大久保 寛基, 内田 耕平, 加藤 麻樹, 石垣 綾, 辛島 光

彦, 竹本 康彦, 後藤 正幸, 川村 大伸

① 委員会開催報告

(ア) 第1回委員会

開催日: 2018年5月25-26日(金, 土)

場 所: 名古屋工業大学

議 題:

A) 2018年度の表彰日程について

B) 優秀学生賞について

C) 春季大会のBPA受賞候補者について

出席者: 25日(金)8名, 26日(土)6名

(イ) 第2回委員会

開催日: 2018年9月1日(木)

場 所: 慶應義塾大学 日吉キャンパス来往舎

議 題:

A) BPAの審査基準, 開示方法について

B) 表彰スケジュールの確認について

C) 優秀学生賞の推薦依頼文について

D) その他

出席者: 5名

(ウ) 第3回委員会

開催日: 2018年10月25-26日(金, 土)

場 所: 東海大学 高輪キャンパス

議 題:

A) 2018年秋季大会のBPA受賞候補者について

出席者: 5名

(エ) 第4回委員会

開催日: 2018年12月15日(金)

場 所: 慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎

議 題:

A) 学会賞(学術・功労), 論文賞・論文奨励賞, 経営システム賞, 実践賞の審査

B) 各賞の推薦文の依頼について

C) 予算について

出席者: 5名

(オ) 第5回委員会

開催日: 2019年1月8日(火)

場 所: メール審議

議 題:

A) 2018年度論文奨励賞の審議

B) 各賞推薦文の確認

(カ) 第6回委員会

開催日: 2019年3月8日(金)

場 所: 福岡工業大学

出席者: 5名

議 題:

A) 2019年春季大会BPAについて

9) 大会委員会

理 事: 八木 英一郎

委員長: 木内 正光

委 員: 相浦 宣徳, 大森 俊一, 小村 和彦, 楠川 恵津子, 香田 政彦, 小林 稔, 斎藤 正武, 白井 裕, 長沢 敬祐, 三川 健太

① 研究発表大会

(ア) 2018年 春季大会

日 時: 2018年5月25日(金)~5月26日(土)

会 場: 名古屋工業大学御器所キャンパス

組織委員長: 仁科 健

テーマ: 「Society 5.0 時代への経営工学の挑戦~
これからのものづくりには何が求められているか?~」

(イ) 2017年 秋季大会

日 時: 2018年10月27日(土)~10月28日(日)

会 場: 東海大学 高輪キャンパス

テーマ: 「情報技術革新がもたらす経営工学的アプローチの新展開」

② 委員会開催報告

(ア) 第1回

開催日: 2018年4月3日(火) 15:00-19:30

場 所: 早稲田大学西早稲田大学キャンパス

議 題:

A) 2018年春季大会について

B) 今後の大会日程

C) 日本IE協会との連携

D) 今後の大会運営について

E) その他

出席者: 5名

(イ) 第2回

開催日: 2018年5月26日(土)

場 所: 名古屋工業大学御器所キャンパス

議 題:

A) プログラム編成について

B) 司会の選定について

C) 大会予稿集の電子化について

出席者: 7名

(ウ) 第3回

開催日: 2018年9月14日(金)

場 所: 城西大学紀尾井町キャンパス

議 題:

A) プログラム編成について

出席者: 2名

(エ) 第4回

開催日: 2018年10月28日(日)

場 所: 東海大学高輪キャンパス

議 題:

A) 2018年秋季大会について

B) 今後の大会日程(確認)

C) 会員増のためのアクションプランにおける大会関連の事項

D) 日本IE協会との連携

出席者: 9名

(オ) 第5回

開催日: 2019年1月25日(金)

場 所: 早稲田大学西早稲田キャンパス

議 題:

A) プログラム編成について

出席者: 4名

(カ) 第6回

開催日: 2019年3月7日(木)

場 所: 福岡工業大学

議 題:

A) 2020年春季大会について

- B) 2019 年秋季大会について
 - C) 春季大会の開催時期について
 - D) 賛助会員へのインセンティブについて
- 出席者：6 名

1.0) 国際・渉外委員会

理 事：中島 健一

委員長：高野倉 雅人

副委員長：翁 嘉華，三林 洋介

委 員：赤木 宏匡，秋葉 知昭，内田 耕平，荻谷
光晴，佐藤 公俊，鈴木 潤平，孫 晶，広谷
大助，降旗 徹馬

① 委員会

(ア) 第 34 期第 2 回 委員会

開催日：2018 年 5 月 26 日（土）12:40-13:20

場 所：名古屋工業大学（名古屋市）

議 題：

- A) 2017 年度の総括
- B) 2018 年度の運営体制
- C) その他

出席者：9 名

(イ) 第 34 期第 3 回 委員会

開催日：2018 年 10 月 28 日（金）12:40-13:05

場 所：東海大学高輪キャンパス（東京都港区）

議 題：

- A) 2018 年度前半までの総括
- B) 2018 年度後半の運営について
- C) ConCom2018 進捗紹介と 2019 協賛内容について
- D) その他

出席者：9 名

(ウ) 第 34 期第 4 回 委員会

開催日：2019 年 3 月 12 日（火）13:30-14:10

場 所：早稲田大学西早稲田キャンパス
（東京都新宿区）

議 題：

- A) 次期委員会への引き継ぎ事項の確認
- B) その他

出席者：7 名

② 2018 年度の主な活動結果

(ア) APIEMS との連携

- A) 第 19 回 APIEMS の開催の HP 更新
- B) 第 19 回 APIEMS2018 理事会報告の HP 掲載
- C) 第 20 回 APIEMS2019（金沢）開催予定の HP 掲載
- D) 第 20 回 APIEMS2019（金沢）組織委員会と JIMA との窓口業務

(イ) IFPR（ICPR）および IFPR-APR との連携

- A) 第 22 回 IFPR-APR2018（Hong Kong, China）報告の HP 掲載
- B) 第 25 回 ICPR（Chicago, USA）開催予定の HP 掲載

③ 国際会議の情報提供

JIMA 会員の関心のあると思われる研究領域の国際会議の開催情報を「国際会議のご案内」のページに平均 20 件程度掲載した。このページは毎月の更新、

見直しをしている。また、メルマガには隔号で直近 3 カ月に締め切りを迎える会議を掲載している。

④ 横幹連合、日本工学教育協会、経営関連学会協議会との連携支援

上記 3 団体に対し、JIMA の会員継続手続きを行った。また、これらの団体の情報を JIMA 会員に専用ホームページで最新情報を提供した。

横幹連合の理事に皆川健多郎（大阪工業大学）、代議員に後藤正幸（早稲田大学）、日本工学教育協会連合講演会の実行委員に三林洋介（都立産業技術高等専門学校）、経営関連学会協議会評議員に開沼泰隆（首都大学東京）、降旗徹馬（高千穂大学）にそれぞれの役割かつ JIMA の立場でご参画いただいた（敬称略）。

⑤ 他学協会との共催、協賛事業の支援

国内外での開催会議 48 件の協賛承認を行い、「共催・協賛・関連行事のご案内」のページおよびメルマガに掲載した。なお、48 件中 FMES 協賛覚書準拠の案件が 16 件、国際会議が 2 件であった。

日本 IE 協会、日本技術士会との 3 団体連携行事への協力、ConCom2018 協賛に伴う協力支援等を行った。

⑥ JABEE/FMES 関連

今期は、JABEE 委員会の機能を本委員会の業務として活動を行った。FMES には、代表者として大久保寛基（東京都市大学）、中島健一（早稲田大学）を、FMES/JABEE 委員に渡邊一衛（成蹊大学）、中島健一（早稲田大学）を、FMES シンポジウム委員に伊呂原隆（上智大学）、翁嘉華（早稲田大学）をそれぞれ登録した（敬称略）。

⑦ 経営システム誌への国際会議報告寄稿者の推薦

経営システム誌に下記の国際会議報告の寄稿者を推薦し、掲載された（敬称略）。

- (ア) 第 28 巻第 1 号，APIEMS2017 に参加して，
佐藤公俊（神奈川大学）（システム誌の体制変更により，4 月発刊から 7 月発刊へ変更）
- (イ) 第 28 巻第 2 号，ICIM2018 に参加して，広谷大助（県立広島大学）・于亜婷（北見工業大学）
- (ウ) 第 28 巻第 2 号，APIEMS2018 に参加して，孫晶（名古屋工業大学）

1.1) 経営システム誌編集委員会

理 事：片岡 隆之

委員長：石垣 綾

副委員長：蓮池 隆，斎藤 文

委 員：加藤 麻樹，中川 慶一郎，川村 大伸，
船木 謙一，後藤 正幸，北條 仁志，
小林 稔，劉 功義，齊藤 史哲，
竹中 毅，藤井 信忠

① 「経営システム」誌（Communications of JIMA），Vol.28, No.1～No.2 を冊子体と電子媒体の両方にて発行した。

（発行年月 巻-号 発行部数）

（ア）2018 年 7 月 15 日，28-1，1,800 部

（イ）2019 年 1 月 15 日，28-2，1,800 部

② 第 34 期の編集委員会体制として，2018 年度の編集

委員会及び幹事会を以下のように開催し、執筆依頼・入稿状況を確認するとともに、今後の経営システム誌のあり方、および編集方針等の各議題について協議した。また、日々の編集業務については電子メールと Google ドライブによるファイル共有システムを活用し、1年を通じて密に連絡を交わしながら、経営システム誌の編集業務を進めた。

(ア) 第34期第4回委員会

開催日：2019年3月8日（金）12:00-13:00

場 所：福岡工業大学

議 題：

A) Vol.29, No.1（2019年7月号）

B) 今後の進め方（次期システム誌編集委員会への申し送り）

C) その他

出席者：石垣（委員長）、蓮池（副委員長）、齋藤（文）（副委員長）、川村、齊藤（史）、片岡（6名）

(イ) 第34期2018年度第1回幹事会

開催日：2018年4月16日（月）

場 所：メール審議

議 題：

A) 編集方針および方策の検討

B) アンケートの実施

出席者：石垣（委員長）、蓮池（副委員長）、齋藤（文）、片岡（4名）

(ウ) 第34期2018年度第2回幹事会

開催日：2018年6月14日（木）

場 所：メール審議

議 題：

A) 編集方針のさらなる具体化、具現化

B) 冊子2号化とWeb化及び編集方針へのアンケート調査（案）

C) 7月号の進捗状況報告（案）

出席者：石垣（委員長）、蓮池（副委員長）、齋藤（文）、片岡（4名）

1.2) 支部委員会

理 事：大久保寛基

委員長：大久保寛基

委 員：各支部支部長と事務局長

① 委員会の開催

(ア) 第2回支部委員会

開催日：2018年5月26日（土）12:10-12:50

場 所：名古屋工業大学

議 題：

A) 支部委員会と会員委員会との連携について

B) 支部運営状況の情報共有に関して

(イ) 第3回支部委員会

開催日：2018年10月28日（日）12:10-12:50

場 所：東海大学

議 題：

A) 退会者削減に向けて

B) 支部運営状況の情報共有に関して

(ウ) 第4回支部委員会

開催日：2019年3月7日（木）12:10-12:50

場 所：福岡工業大学

議 題：

A) 次期に向けた引継ぎ事項に関して

B) 支部運営状況の共有に関して

② 支部委員とのMailによる打合せ

議 題：

(ア) 支部予算と会計処理に関する検討

(イ) 支部間連携に関する検討

(ウ) 退会者削減に関する検討

(5) 許可、認可、承認、証明等に関する事項

該当事項なし。

(6) 契約に関する事項

2018年3月一般財団法人学会誌刊行センターと「日本経営工学会論文誌」および「経営システム」編集発行業務について2018年度（2018年4月1日～2019年3月31日）の代行委託契約を締結した。

2018年3月株式会社国際文献社と学会事務局の会員業務、会計業務、理事会運営業務、その他発生する業務について2018年度（2018年4月1日～2019年3月31日）の代行委託契約を締結した。

(7) 寄付金に関する事項

2018年8月31日付で酒井化学工業株式会社より100万円の寄付があった。

寄付により受け入れた資産であり、公益目的事業の財源として使用する。

(8) 主務官庁からの連絡事項

- 2018年4月1日「事業報告等の提出」提出のご案内（A）
- 2018年5月1日「事業報告等の提出」提出のご案内（B）
- 2018年6月1日「事業報告等の提出」提出のご案内（C）

(9) その他重要事項

該当事項なし。

(10) 附属明細書

該当事項なし。

6. 1. 3 収支決算報告

[I] 財務諸表

貸借対照表

正味財産増減計算書

予算対比正味財産増減計算書

正味財産増減計算書内訳表

財産目録

財務諸表に対する注記

附属明細書

貸借対照表

2019年 3月31日現在

公益社団法人 日本経営工学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	13,130,430	7,481,221	5,649,209
未収金	401,610	0	401,610
流動資産合計	13,532,040	7,481,221	6,050,819
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
公益目的事業運営資産	22,000,000	22,000,000	0
創立70周年記念事業準備金	1,800,000	1,800,000	0
特定資産合計	23,800,000	23,800,000	0
固定資産合計	23,800,000	23,800,000	0
資産合計	37,332,040	31,281,221	6,050,819
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,925,316	1,361,995	3,563,321
前受金	162,000	40,000	122,000
前受会費	97,000	214,000	△ 117,000
預り金	27,938	24,775	3,163
未払消費税等	102,900	36,900	66,000
流動負債合計	5,315,154	1,677,670	3,637,484
負債合計	5,315,154	1,677,670	3,637,484
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	32,016,886	29,603,551	2,413,335
(うち特定資産への充当額)	23,800,000	23,800,000	0
正味財産合計	32,016,886	29,603,551	2,413,335
負債及び正味財産合計	37,332,040	31,281,221	6,050,819

正味財産増減計算書

2018年 4月 1日から2019年 3月31日まで

公益社団法人 日本経営工学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	2,199	2,199	0
特定資産受取利息	2,199	2,199	0
正会員受取入会金	82,000	82,000	0
学生会員受取入会金	48,000	47,000	1,000
正会員受取会費	9,871,000	10,462,000	△ 591,000
学生会員受取会費	408,000	364,000	44,000
賛助会員受取会費	750,000	750,000	0
事業収益	10,980,471	13,515,459	△ 2,534,988
春季大会事業収益	3,526,669	1,904,000	1,622,669
秋季大会事業収益	1,875,000	2,652,000	△ 777,000
論文誌掲載収益	1,949,500	2,358,000	△ 408,500
別刷代収益	146,480	190,910	△ 44,430
広告料収益	160,000	320,000	△ 160,000
定期購読収益	286,294	358,344	△ 72,050
バックナンバー収益	114,156	54,658	59,498
支部収益	44,548	44,548	0
研究部門収益	681,160	608,000	73,160
産学連携研究交流会収益	2,196,664	5,024,999	△ 2,828,335
受取寄付金	1,000,000	0	1,000,000
受取寄付金	1,000,000	0	1,000,000
雑収益	125,498	177,842	△ 52,344
受取利息	44	61	△ 17
雑収益	125,454	177,781	△ 52,327
経常収益計	23,267,168	25,400,500	△ 2,133,332
(2) 経常費用			
事業費	16,094,235	20,871,803	△ 4,777,568
臨時雇賃金	482,647	428,902	53,745
会議費	1,957,289	2,914,451	△ 957,162
旅費交通費	403,784	638,826	△ 235,042
通信運搬費	790,630	905,688	△ 115,058
消耗品費	416,482	454,236	△ 37,754
印刷製本費	5,552,818	7,902,224	△ 2,349,406
HP関係費	474,012	405,972	68,040
諸謝金	1,379,503	1,544,689	△ 165,186
支払手数料	13,121	53,597	△ 40,476
委託費	4,332,868	5,304,614	△ 971,746
他学協会連携関係維持費	208,000	208,622	△ 622
雑費	83,081	109,982	△ 26,901
管理費	4,759,598	5,130,384	△ 370,786
臨時雇賃金	12,000	0	12,000
会議費	11,700	21,060	△ 9,360
旅費交通費	293,198	428,120	△ 134,922
通信運搬費	213,044	111,675	101,369
消耗品費	98,226	0	98,226
印刷製本費	23,494	22,453	1,041
HP関係費	203,148	173,988	29,160
租税公課	102,900	37,850	65,050
支払手数料	97,685	421,533	△ 323,848
委託費	3,675,043	3,884,545	△ 209,502
雑費	29,160	29,160	0
経常費用計	20,853,833	26,002,187	△ 5,148,354
評価損益等調整前当期経常増減額	2,413,335	△ 601,687	3,015,022
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,413,335	△ 601,687	3,015,022
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,413,335	△ 601,687	3,015,022
一般正味財産期首残高	29,603,551	30,205,238	△ 601,687
一般正味財産期末残高	32,016,886	29,603,551	2,413,335
II 正味財産期末残高	32,016,886	29,603,551	2,413,335

予算対比正味財産増減計算書

2018年 4月 1日から2019年 3月31日まで

公益社団法人 日本経営工学会

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	5,000	2,199	2,801
特定資産受取利息	5,000	2,199	2,801
正会員受取入会金	82,000	82,000	0
学生会員受取入会金	53,000	48,000	5,000
正会員受取会費	10,894,000	9,871,000	1,023,000
学生会員受取会費	484,000	408,000	76,000
賛助会員受取会費	850,000	750,000	100,000
事業収益	14,488,000	10,980,471	3,507,529
春季大会事業収益	4,300,000	3,526,669	773,331
秋季大会事業収益	2,150,000	1,875,000	275,000
論文誌掲載収益	2,600,000	1,949,500	650,500
別刷代収益	150,000	146,480	3,520
広告料収益	160,000	160,000	0
定期購読収益	378,000	286,294	91,706
バックナンバー収益	0	114,156	△ 114,156
支部収益	0	44,548	△ 44,548
研究部門収益	750,000	681,160	68,840
産学連携研究交流会収益	4,000,000	2,196,664	1,803,336
受取寄付金	0	1,000,000	△ 1,000,000
受取寄付金	0	1,000,000	△ 1,000,000
雑収益	302,000	125,498	176,502
受取利息	2,000	44	1,956
雑収益	300,000	125,454	174,546
経常収益計	27,158,000	23,267,168	3,890,832
(2) 経常費用			
事業費	21,306,156	16,094,235	5,211,921
臨時雇賃金	701,822	482,647	219,175
会議費	2,832,480	1,957,289	875,191
旅費交通費	543,178	403,784	139,394
通信運搬費	776,240	790,630	△ 14,390
消耗品費	447,708	416,482	31,226
印刷製本費	5,783,936	5,552,818	231,118
HP関係費	642,347	474,012	168,335
諸謝金	1,932,197	1,379,503	552,694
支払手数料	28,416	13,121	15,295
委託費	6,791,372	4,332,868	2,458,504
他学協会連携関係維持費	298,622	208,000	90,622
雑費	527,838	83,081	444,757
管理費	4,746,747	4,759,598	△ 12,851
臨時雇賃金	80,000	12,000	68,000
会議費	40,000	11,700	28,300
旅費交通費	300,000	293,198	6,802
通信運搬費	120,000	213,044	△ 93,044
消耗品費	9,000	98,226	△ 89,226
印刷製本費	70,000	23,494	46,506
HP関係費	275,292	203,148	72,144
租税公課	5,000	102,900	△ 97,900
支払手数料	235,800	97,685	138,115
委託費	3,611,655	3,675,043	△ 63,388
雑費	0	29,160	△ 29,160
経常費用計	26,052,903	20,853,833	5,199,070
評価損益等調整前当期経常増減額	1,105,097	2,413,335	△ 1,308,238
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,105,097	2,413,335	△ 1,308,238
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,105,097	2,413,335	△ 1,308,238
一般正味財産期首残高	29,603,551	29,603,551	0
一般正味財産期末残高	30,708,648	32,016,886	△ 1,308,238
II 正味財産期末残高	30,708,648	32,016,886	△ 1,308,238

正味財産増減計算書内訳表

2018年 4月 1日から2019年 3月31日まで

公益社団法人 日本経営工学会

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引等消去	合 計
	経営工学に関する 学術振興事業	小 計			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
特定資産運用益	2,199	2,199	0	0	2,199
特定資産受取利息	2,199	2,199	0	0	2,199
正会員受取入会金	41,000	41,000	41,000	0	82,000
学生会員受取入会金	24,000	24,000	24,000	0	48,000
正会員受取会費	4,935,500	4,935,500	4,935,500	0	9,871,000
当年度	4,800,000	4,800,000	4,800,000	0	9,600,000
過年度	135,500	135,500	135,500	0	271,000
学生会員受取会費	204,000	204,000	204,000	0	408,000
当年度	196,000	196,000	196,000	0	392,000
過年度	8,000	8,000	8,000	0	16,000
賛助会員受取会費	375,000	375,000	375,000	0	750,000
事業収益	10,971,471	10,971,471	0	0	10,971,471
春季大会事業収益	3,526,669	3,526,669	0	0	3,526,669
秋季大会事業収益	1,875,000	1,875,000	0	0	1,875,000
論文誌掲載収益	1,949,500	1,949,500	0	0	1,949,500
別刷代収益	146,480	146,480	0	0	146,480
広告料収益	160,000	160,000	0	0	160,000
定期購読収益	286,294	286,294	0	0	286,294
バックナンバー収益	114,156	114,156	0	0	114,156
支部収益	44,548	44,548	0	0	44,548
研究部門収益	681,160	681,160	0	0	681,160
産学連携研究交流会収益	2,196,664	2,196,664	0	0	2,196,664
受取寄付金	1,000,000	1,000,000	0	0	1,000,000
受取寄付金	1,000,000	1,000,000	0	0	1,000,000
雑収益	0	0	125,498	0	125,498
受取利息	0	0	44	0	44
雑収益	0	0	125,454	0	125,454
経常収益計	17,562,170	17,562,170	5,704,998	0	23,267,168
(2) 経常費用					
事業費	16,094,235	16,094,235	0	0	16,094,235
臨時雇賃金	482,647	482,647	0	0	482,647
会議費	1,957,289	1,957,289	0	0	1,957,289
旅費交通費	403,784	403,784	0	0	403,784
通信運搬費	790,630	790,630	0	0	790,630
消耗品費	416,482	416,482	0	0	416,482
印刷製本費	5,552,818	5,552,818	0	0	5,552,818
HP関係費	474,012	474,012	0	0	474,012
諸謝金	1,379,503	1,379,503	0	0	1,379,503
支払手数料	13,121	13,121	0	0	13,121
委託費	4,332,868	4,332,868	0	0	4,332,868
他学協会連携関係維持費	208,000	208,000	0	0	208,000
雑費	83,081	83,081	0	0	83,081
管理費	0	0	4,759,598	0	4,759,598
臨時雇賃金	0	0	12,000	0	12,000
会議費	0	0	11,700	0	11,700
旅費交通費	0	0	293,198	0	293,198
通信運搬費	0	0	213,044	0	213,044
消耗品費	0	0	98,226	0	98,226
印刷製本費	0	0	23,494	0	23,494
HP関係費	0	0	203,148	0	203,148
租税公課	0	0	102,900	0	102,900
支払手数料	0	0	97,685	0	97,685
委託費	0	0	3,675,043	0	3,675,043
雑費	0	0	29,160	0	29,160
経常費用計	16,094,235	16,094,235	4,759,598	0	20,853,833
評価損益等調整前当期経常増減額	1,467,935	1,467,935	945,400	0	2,413,335
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	1,467,935	1,467,935	945,400	0	2,413,335
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計					0
(2) 経常外費用					
経常外費用計					0
当期経常外増減額					0
当期一般正味財産増減額					2,413,335
一般正味財産期首残高					29,603,551
一般正味財産期末残高					32,016,886
II 正味財産期末残高					32,016,886

財産目録

2019年 3月31日現在

公益社団法人 日本経営工学会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)	預金	普通預金	運転資金として	11,014,323	
		三菱UFJ信託銀行上野支店		1,204,446	
		三井住友信託銀行芝営業部		139,983	
		みずほ銀行早稲田支店		6,353,803	
		みずほ銀行高田馬場支店/東北・北海道支部口座		5,175	
		みずほ銀行高田馬場支店/北関東支部		96,348	
		みずほ銀行高田馬場支店/東関東支部		23,170	
		みずほ銀行高田馬場支店/関東支部		471,090	
		みずほ銀行高田馬場支店/中部支部		86,822	
		みずほ銀行高田馬場支店/北陸支部		1,702	
	未収金	みずほ銀行高田馬場支店/関西支部	運転資金として	183,873	
		みずほ銀行高田馬場支店/中国四国支部		26,280	
		みずほ銀行高田馬場支店/九州支部		43,788	
		みずほ銀行高田馬場支店/FMESシンポジウム		28,840	
		みずほ銀行高田馬場支店/大会参加費保管口座		1,271,784	
		みずほ銀行高田馬場支店/国際ワークショップ		16,583	
		みずほ銀行高田馬場支店/大会組織委員会		1,060,636	
		郵便振替		2,116,107	
		ゆうちょ銀行/会費振込専用口座		2,116,107	
		公益目的事業の論文誌掲載料等である。			
流動資産合計				13,532,040	
(固定資産) 特定資産	公益目的事業運営資産	定期預金/三菱UFJ信託銀行上野支店	公益目的保有財産であり公益目的事業に運用益を使用している。	22,000,000	
		定期預金/三井住友信託銀行芝営業部		10,000,000	
		定期預金/みずほ銀行早稲田支店		10,000,000	
	創立70周年記念事業準備金	定期預金/みずほ銀行早稲田支店		公益目的保有財産であり公益目的事業に運用益を使用している。	2,000,000
		みずほ銀行高田馬場支店/創立70周年記念事業準備金			1,800,000
固定資産合計				1,800,000	
資産合計				23,800,000	
				37,332,040	
(流動負債)	未払金	㈱国際文献社	公益目的事業及び管理目的である会員・会計等の委託費用である。 公益目的事業である論文誌・システム誌等の印刷製本費等である。 公益目的事業である産学連携研究交流会の委託費用である。 公益目的事業の諸謝金費用である。 公益目的事業の臨時雇賃金・消耗品費用等である。 公益目的事業の消耗品費用である。 公益目的事業の消耗品費用等である。 公益目的事業の諸謝金費用である。 公益目的事業の臨時雇賃金・諸謝金費用である。 公益目的事業の諸謝金費用である。 管理目的である理事会の旅費交通費用である。 公益目的事業である翌事業年度の論文誌掲載料である。 公益目的事業及び管理目的の業務に使用する翌事業年度の会費及び入会金である。	4,925,316	
		学会誌刊行センター		2,567,946	
		日本インダストリアル・エンジニアリング協会		1,680,909	
		サービス研究部門		150,000	
		経営情報部門		30,000	
		表彰委員会		87,938	
		グローバル時代のMOT研究プロジェクト		65,016	
		応用データマイニング研究プロジェクト		16,782	
		大規模経営応報データ解析の実践的研究プロジェクト		23,700	
		産学連携研究交流会		85,781	
		第34期理事会		216,000	
		前受金		1,244	
		前受会費		162,000	
		預り金		97,000	
		源泉税		27,938	
未払消費税等	報酬支払に対する源泉税	27,938			
	平成30年度未払消費税	102,900			
流動負債合計				5,315,154	
負債合計				5,315,154	
正味財産				32,016,886	

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理は税込方式を採用している。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
公益目的事業運営資産	22,000,000	0	0	22,000,000
創立70周年記念事業準備金	1,800,000	0	0	1,800,000
合 計	23,800,000	0	0	23,800,000

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は次の通りである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対する額)
特定資産				
公益目的事業運営資産	22,000,000	(0)	(22,000,000)	(0)
創立70周年記念事業準備金	1,800,000	(0)	(1,800,000)	(0)
合 計	23,800,000	(0)	(23,800,000)	(0)

附属明細書

1. 特定資産の明細

特定資産について、財務諸表の注記 2. 特定資産の増減額及びその残高に記載をしているため、記載を省略する。

6. 2 監査報告

独立監査人の監査報告書

平成 31 年 4 月 22 日

公益社団法人日本経営工学会
理 事 会 御中

鶴高公認会計士事務所
公認会計士



<財務諸表監査>

当公認会計士事務所は、公益社団法人日本経営工学会の平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの平成 30 年度の貸借対照表及び損益計算書（公益認定等ガイドライン I-5(1)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）並びにその附属明細書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当公認会計士事務所の責任は、当公認会計士事務所が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。当公認会計士事務所は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当公認会計士事務所に財務諸表等に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当公認会計士事務所の判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当公認会計士事務所は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

当公認会計士事務所は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当公認会計士事務所は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

<財産目録に対する意見>

当公認会計士事務所は、公益社団法人日本経営工学会の平成 31 年 3 月 31 日現在の平成 30 年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

財産目録に対する理事者の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監査人の責任

当公認会計士事務所の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

財産目録に対する監査意見

当公認会計士事務所は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

利害関係

公益社団法人日本経営工学会と当公認会計士事務所との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

監査報告書

2019 年 4 月 25 日

公益社団法人 日本経営工学会
会長 石井 和克 殿

公益社団法人 日本経営工学会
監事 河野 宏和 ⑩
監事 皆川 健多郎 ⑩

私たち監事は、平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表等（貸借対照表（内訳表を含む）、正味財産増減計算書（内訳表を含む）、財産目録、財務諸表に対する注記）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 財務諸表等及びその附属明細書の監査結果

財務諸表等及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

6.3 2019年度事業計画、収支予算報告

2019年度事業計画

1. 事業計画

[I] 研究発表会、学術講演会の開催（定款第4条第1号）：大会委員会

2019年度は、2019年秋季大会と2020年春季大会を開催する。

- (1) 秋季大会（日本IE協会年次大会との共同開催）
日時 2019年9月9日（月）～10日（火）
場所 タワーホール船堀
- (2) 春季大会
日時 2020年3月5日（木）～6日（金）
場所 秋田県立大学本荘キャンパス
大会組織委員長 嶋崎真仁

[II] 会誌、その他の刊行（定款第4条第2号）

(1) 日本経営工学会論文誌「Journal of Japan Industrial Management Association」：日本経営工学会論文誌編集委員会

Vol.70, No.1～No.4, No.2E, No.4E を発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数
2019年 4月15日	70	1	1,400
2019年 7月15日	70	2, 2E	1,400
2019年 10月15日	70	3	1,400
2020年 01月15日	70	4, 4E	1,400

(2) 経営システム「Communications of JIMA」：経営システム誌編集委員会

Vol.29, No.1, No.2 を発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数
2019年 07月15日	29	1	1,800
2020年 01月15日	29	2	1,800

[III] 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第4条第3号）：表彰委員会

学会賞（学術）、学会賞（功労）、論文賞、論文奨励賞、特別賞（経営システム賞、経営工学実践賞、優秀学生賞、Best Presentation Award）を選考し、理事会に推薦する。

[IV] 調査、研究、見学及び視察（定款第4条第4号）

2018年度の事業を踏襲し、引き続き支部、研究部門で活動を行う。

(1) 支部活動計画：支部委員会

1) 東北・北海道支部

－北海道、青森、岩手、秋田、山形、宮城、福島

① 支部総会

(ア) 日時：2020年3月

(イ) 議題：2019年度事業報告

2020年度事業計画

その他

② 研究発表会

日時：2020年3月

会場：未定

③ 運営委員会

eメールにてその都度開催

④ その他

2) 関東支部

－埼玉、栃木、群馬、千葉、茨城、神奈川、東京、山梨

① 関東支部運営委員会

年間2回開催予定

② 人材育成研究会

年間2回講演会を開催予定（春、秋各1回）

③ 事業所見学会

年間1回夏頃開催予定

④ 支部合同セミナー

年間1回3月頃開催予定

⑤ 学生論文発表会

日時：2020年3月

3) 中部支部

－愛知、岐阜、三重、静岡

① 支部総会（1回）

日時：2020年2月

会場：名古屋工業大学

② 委員会（1回）

日時：2020年2月

会場：名古屋工業大学

③ シンポジウム（1回）

日時：2019年6月

会場：未定（日本設備管理学会・東海支部と協賛）

④ セミナー（社会人向け実習セミナー）（1回）

日時：2019年11月

会場：未定（名古屋工業大学・先進生産技術研究センターと協賛（予定））

⑤ 工場見学会（1回）

日時：2019年11月

会場：未定（日本設備管理学会・東海支部と協賛）

⑥ 支部講演会及び学生論文発表会（1回）

日時：2020年2月

会場：名古屋工業大学

4) 北陸支部

－石川、富山、福井、新潟、長野

① 委員会（2回）

日時：2019年5月11日（土）、2020年2月

会場：未定

② セミナー（1回）

日時：2019年5月11日（土）

会場：未定

③ 学生論文発表会（1回）

日時：2020年2月

会場：未定

5) 関西支部

ー大阪、京都、兵庫、和歌山、奈良、滋賀

① 支部総会

(ア) 日時：2019 年 6 月

(イ) 議題：2018 年度事業報告
2018 年度収支決算報告
役員改選
2019 年度事業計画案
2019 年度収支予算案

② 特別講演会

日時：2019 年 6 月

会場：未定

③ 委員会（5 回）

日時：2019 年 6 月

日時：2019 年 8 月

日時：2019 年 10 月

日時：2019 年 12 月

日時：2020 年 2 月

会場：未定

④ セミナー（2 回）

日時：2019 年 10 月

日時：2020 年 2 月

会場：未定

⑤ 見学会（2 回）

日時：2019 年 9 月

日時：2020 年 3 月

会場：未定

⑥ 学生論文発表会（1 回）

日時：2020 年 3 月

会場：未定

6) 中国四国支部

ー鳥取、島根、岡山、広島、山口、香川、愛媛、高知、徳島

① 支部総会

(ア) 日時：2019 年 5 月

(イ) 議題：2018 年度事業報告、決算報告
2019 年度事業計画、収支予算等
その他

② 支部運営委員会（2 回）

日時：2019 年 5 月

会場：未定

日時：2020 年 3 月

会場：未定

③ 講演会（2 回）

日時：2019 年 5 月

会場：未定

日時：2020 年 3 月

会場：未定

④ 見学会（1 回）

日時：2019 年 9 月

会場：未定

⑤ 学生論文発表会（1 回）

日時：2020 年 3 月

会場：未定

⑥ 勉強会（1 回）

日時：2019 年 11 月

会場：マツダ(株)本社（予定）

7) 九州支部

ー福岡、佐賀、熊本、大分、長崎、宮崎、鹿児島、沖縄

① 支部総会

日時：2019 年 5 月

会場：福岡工業大学

(ア) 総会

2018 年度支部事業報告

2018 年度支部決算報告

2019 年度支部事業計画

2019 年度支部予算案

その他

(イ) 意見交換会

② 合同研究会（年間 2 回）

(ア) 第 1 回

日時：2019 年 5 月

会場：福岡工業大学

(イ) 第 2 回

日時：2019 年 7 月

会場：未定

③ 経営工学合同定例セミナー

日時：2019 年 12 月

会場：未定

④ 学生論文発表会

日時：2020 年 2 月

会場：福岡工業大学

(ア) 発表会

予定発表 15 件程度

(イ) 懇親会

⑤ 見学会

日時：2019 年 8 月上旬

会場：未定（生産現場など）

⑥ 学生会講演会

日時：2019 年度中

会場：未定

講師：未定

⑦ 幹事会（年間 3 回）

2019 年 7 月、12 月、及び 2020 年 5 月

（企画・運営委員会、論文集委員会、表彰委員会兼任）

企画、論文集発行、表彰等の計画・実施

⑧ 研究委員会（年間 4 回）

e メールを活用した電子会議を軸に実施し、開催日は委員長に一任

研究会、見学会、セミナーの計画・実施

⑨ 学生助成委員会（年間 2 回）

e メールを活用した電子会議を軸に実施し、開催日は委員長に一任

論文発表会の会場・スケジュール、講演会の会場・講師・日程の調整・決定

(2) 研究部門活動計画：研究委員会

1) 生産・物流部門

① 生産物流部門研究活動の活性化

- (ア) 生産・物流部門運営システムの構築と実施
- (イ) 学会員への周知
- ② 産学連携に基づく社会への貢献
 - (ア) 複数研究会設置及び関連活動による産学連携の推進
 - (イ) 産学連携活動の場の提供
- ③ 国際 WS 及び産学連携交流会の開催
- ④ 春季大会でのオーガナイズド・セッションの開催

2) 事業・市場部門

- ① 事業・市場開発研究部門研究活動の活性化
 - (ア) 月 1 回の定期会議を通して、下記の議論と研究報告の実施
 - ・スマート製品サービスとプラットフォーム・サービスに関する事業・市場の創造のための方策
 - ・上記の事業・市場を創造できる「未来戦略デザイン・ビジネスプロデューサー」の育成プログラムの体系化の研究と教育プログラムの開発
 - ・国内外への市場調査
 - (イ) 「未来戦略デザイン・ビジネスプロデューサー」の育成プログラムの社会人教育や大学・大学院教育への実証
 - (ウ) スマート製品サービスとプラットフォーム・サービスに関するビジネス創造のための「ラボ」の構築・運用
- ② 産学連携に基づく社会への貢献
 - 研究部門及び関連活動による産学連携の推進
- ③ 研究報告
 - (ア) 春季大会、秋季大会におけるオーガナイズド・セッション」を企画し、研究内容と成果を報告
 - (イ) JIMA 関連の学会にオーガナイズド・セッション」を企画し、研究内容と成果を報告
 - (ウ) 大学における社会人教育および学部・大学院において、研究成果である教育プログラムの実施・検証
 - (エ) 経営システム誌など学術誌への研究成果の発表

3) サービス部門

- ① 部門基礎
 - 人間・組織部門とともに、人間・組織、サービスの双方に関連する、実務的に関心が高い経営工学的研究テーマの検討を進める。
- ② 講演会・見学会
 - 人間・組織を考慮したサービス生産性向上、サービス設計、改善・改良の実例・研究成果などの発表会・講演会あるいは交流会・見学会を人間・組織部門と共同で、年数回開催する。
- ③ 春季大会でのオーガナイズド・セッションの開催

4) 経営情報部門

- ① 経営情報部門研究活動の活性化のための意見交

- 換
- ② データ解析コンペティション JIMA 予選会の実施
- ③ 秋季大会でのオーガナイズド・セッションの開催

5) 経営数理部門

- ① 春季大会におけるオーガナイズド・セッション研究発表

6) 人間・組織部門

- ① 人間・組織研究部門研究活動の活性化
 - (ア) 部門主催の講演会（年 2 回）
 - (イ) 将来に向けての部門活性化の検討
- ② 春季大会でのオーガナイズド・セッションの開催（非会員あるいは企業からの発表者を招来予定）

(3) 研究プロジェクト：研究委員会

以下の 3 件の研究プロジェクトを実施

- 1) 応用データマイニング研究プロジェクト
- 2) グローバル時代の MOT 研究会
- 3) 集合知メカニズムとその社会実装

(4) 第 4 回産学連携研究交流会：企画・行事委員会

目的：大学と産業界のメンバーがテーマごとに集まり議論し合う場の提供

テーマ（仮）：「IoT の基本構造を学ぶ」「物流/サプライチェーン」「企業体質強化に向けた視点」「IT/ICT とカイゼン」（テーマは 2019 年 3 月末までに確定）

- 1) 第 4 回「分科会 1」
開催月（仮）：2019 年 5 月，6 月，7 月
- 2) 第 4 回「分科会 2」
開催月（仮）：2019 年 8 月，9 月，10 月
- 3) 第 4 回「分科会 3」
開催月（仮）：2019 年 10 月，11 月，12 月
- 4) 第 4 回「分科会 4」
開催月（仮）：2020 年 1 月，2 月，3 月

[V] 内外の関連機関との提携及び交流（定款第 4 条第 5 号）

- (1) 経営工学に関連する国際会議のホームページ，メールマガジンによる会員向け案内の継続
- (2) 日本経営工学会に対する協賛・共催依頼への対応とそれらのホームページ，メールマガジンでの会員への案内・周知
- (3) 横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合），日本工学会，経営関連学会協議会との連携とホームページへの情報掲載
- (4) APIEMS への協力・支援，年次大会のホームページへの情報掲載
- (5) IFPR (ICPR) 及び IFPR-APR への協力・支援，ホームページへの情報掲載促進
- (6) CIIE, KIIE との MOU に基づく連携活動
- (7) 経営システムへの国際会議報告等の寄稿者推

薦

- (8) JABEE 及び FMES との連携活動
- (9) 日本技術士会及び日本 IE 協会との連携活動
- (10) その他、日本経営工学会の国際化方針に基づく活動支援及び国内学協会との連携支援等

[VI] その他前条の目的を達成するに必要な事業（定款第4条第6号）

特になし

2. 会議に関する事項

[I] 定時総会

2019 年 6 月（年 1 回）開催予定

[II] 理事会

2019 年 5 月, 7 月, 9 月, 11 月, 2020 年 1 月, 3 月（年 6 回）開催予定

[III] 各種委員会

(1) 庶務委員会

- 1) 規程類の検討、総会・理事会の運営、ホームページの作成・更新・運用、メールマガジン発行
- 2) 事務の諸手続きの国際文献社への依頼
- 3) 事業計画書及び事業報告書の確認

(2) 研究委員会

- 1) 研究部門の管理・活動支援
- 2) 研究プロジェクトの管理・活動支援
 - ① 研究部門及び関連活動による産学連携の推進
 - ② 産学連携活動の場の提供

(3) 日本経営工学会論文誌編集委員会

年 6 回程度の委員会を開催し、日本経営工学会論文誌の発行を推進する。

(4) 企画・行事委員会

- 1) 産学連携研究交流会の企画と予算管理
- 2) 産学連携研究交流会の計画・実施

(5) 人材育成委員会

- 1) 技術士（経営工学）取得への支援活動：経営工学関係 3 団体（日本経営工学会、日本技術士会、日本 IE 協会）で連携しながら、技術士（経営工学）を目指している学生、実務を担当しながら技術士（経営工学）を目指している企業人に対して、国家資格としての技術士の制度や受験について支援活動をする。これにより、更に経営工学に興味を持ってもらい、将来的に日本経営工学会への入会につなげていく。
- 2) 実践教育プログラムの活動：経営工学を学ぶ学生に対して、現場研修・実習を通じて経営工学の実務を疑似体験してもらうことで経営工学に関する興味を深めてもらう。またこれにより、学会への入会のきっかけを作る。
その他、日本経営工学会の人材育成に関する方

針に関連した諸活動。

(6) 会員委員会

- 1) 会員の入退会の管理、報告
- 2) 会員名簿の情報セキュリティー運用対策の実施
- 3) 会員増強のためのデータ分析
- 4) 会員増強策の検討、提案
- 5) プレ会員の登録、管理

(7) 財務委員会

- 1) 毎月の伝票検査、支払い及び四半期毎の予算執行の管理
- 2) 決算案の作成と事業報告書の提出期限の周知、監査手続き
- 3) 予算案のとりまとめと事業計画書の提出期限の周知
- 4) 計数的統制と効率的運用

(8) 大会委員会

- 1) 春季・秋季大会での委員会開催
- 2) 春季・秋季大会におけるプログラムの検討
- 3) 事務局との大会日程等の調整
- 4) その他大会に関する会合（e メール等で開催）

(9) 表彰委員会

年間 5～6 回の委員会を開催し、学会賞（学術）、学会賞（功労）、論文賞、論文奨励賞、特別賞（経営システム賞、経営工学実践賞、優秀学生賞、Best Presentation Award）の各候補の推薦方法を検討し、各賞受賞候補者（案）を決定し、理事会に諮る。

(10) 国際・渉外委員会

- 1) 経営工学に関連する国際会議のホームページ、メールマガジンによる会員向け案内の継続
- 2) 日本経営工学会に対する協賛・共催依頼への対応と国内外での協賛・共催学会のホームページでの案内・周知
- 3) 横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）、日本工学会、経営関連協議会との連携とホームページへの情報掲載
- 4) APIEMS への協力・支援、年次大会のホームページへの情報掲載
- 5) IFPR（ICPR）及び IFPR-APR への協力・支援、ホームページへの情報掲載促進
- 6) CHIE、KIIE との MOU に基づく連携活動
- 7) 経営システムへの国際会議報告等の寄稿者推薦
- 8) JABEE 及び FMES との連携活動
- 9) 日本技術士会及び日本 IE 協会との連携活動
- 10) 大会委員会ならびに研究委員会と連携した FMES シンポジウムの開催
- 11) その他、日本経営工学会の国際化方針に基づく活動支援及び国内学協会との連携支援等

(1 1) 経営システム誌編集委員会

- 1) 年間 2 冊の発行を継続しつつ電子化を推進する
- 2) 学会活動を広く発信する観点から，経営システム誌の各コンテンツの内容，発信媒体を再検討
- 3) 上記を議論するため，適宜，編集委員会を開催

(1 2) 支部委員会

- 1) 委員会の開催（兼支部長との懇談会）
- 2) 各支部の事業計画と支部に割り当てる資金・企画行事の検討
- 3) 支部長との懇談会に基づく支部活動や支部間連携活動の活性化支援
- 4) 支部の運営方法や大会開催支援に関する検討

収支予算書

2019年 4月1日から2020年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	5,000	5,000	0
正会員受取入会金	68,000	82,000	△ 14,000
学生会員受取入会金	57,000	53,000	4,000
正会員受取会費	10,320,000	10,894,000	△ 574,000
学生会員受取会費	568,000	484,000	84,000
賛助会員受取会費	850,000	850,000	0
事業収益	11,935,576	14,488,000	△ 2,552,424
産学連携研究交流会事業収益	3,750,000	4,000,000	△ 250,000
春季大会事業収益	2,100,000	4,300,000	△ 2,200,000
秋季大会事業収益	2,110,000	2,150,000	△ 40,000
論文誌掲載収益	2,600,000	2,600,000	0
別刷代収益	150,000	150,000	0
広告料収益	160,000	160,000	0
定期購読収益	315,576	378,000	△ 62,424
バックナンバー収益	0	0	0
支部収益	0	0	0
研究部門収益	750,000	750,000	0
受取寄付金	0	0	0
雑収益	502,000	302,000	200,000
受取利息	2,000	2,000	0
雑収益	500,000	300,000	200,000
経常収益計	24,305,576	27,158,000	△ 2,852,424
(2) 経常費用			
事業費	20,103,583	21,306,156	△ 1,202,573
臨時雇賃金	361,822	701,822	△ 340,000
会議費	3,354,278	2,832,480	521,798
旅費交通費	513,678	543,178	△ 29,500
通信運搬費	588,458	776,240	△ 187,782
消耗品費	268,438	447,708	△ 179,270
印刷製本費	7,325,138	5,783,936	1,541,202
諸謝金	2,153,088	1,932,197	220,891
支払手数料	28,416	28,416	0
HP関係費	764,802	642,347	122,455
委託費	3,883,987	6,791,372	△ 2,907,385
他学協会連携関係維持費	298,622	298,622	0
雑費	562,856	527,838	35,018
管理費	4,151,064	4,746,747	△ 595,683
臨時雇賃金	0	80,000	△ 80,000
会議費	40,000	40,000	0
旅費交通費	250,000	300,000	△ 50,000
通信運搬費	120,000	120,000	0
消耗品費	9,000	9,000	0
印刷製本費	70,000	70,000	0
租税公課	5,000	5,000	0
支払手数料	235,800	235,800	0
HP関係費	242,058	275,292	△ 33,234
委託費	3,179,206	3,611,655	△ 432,449
雑費	0	0	0
経常費用計	24,254,647	26,052,903	△ 1,798,256
当期経常増減額	50,929	1,105,097	△ 1,054,168
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	50,929	1,105,097	△ 1,054,168
一般正味財産期首残高	30,708,648	29,603,551	1,105,097
一般正味財産期末残高	30,759,577	30,708,648	50,929
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	30,759,577	30,708,648	50,929

収支予算書内訳表

2019年 4月1日から2020年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業		法人会計	合 計
	経営工学に関する 学術振興事業	小計		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	5,000	5,000	0	5,000
正会員受取入会金	34,000	34,000	34,000	68,000
学生会員受取入会金	28,500	28,500	28,500	57,000
正会員受取会費	5,160,000	5,160,000	5,160,000	10,320,000
学生会員受取会費	284,000	284,000	284,000	568,000
賛助会員受取会費	425,000	425,000	425,000	850,000
事業収益	11,935,576	11,935,576	0	11,935,576
産学連携研究交流会事業収益	3,750,000	3,750,000	0	3,750,000
春季大会事業収益	2,100,000	2,100,000	0	2,100,000
秋季大会事業収益	2,110,000	2,110,000	0	2,110,000
論文誌掲載収益	2,600,000	2,600,000	0	2,600,000
別刷代収益	150,000	150,000	0	150,000
広告料収益	160,000	160,000	0	160,000
定期購読収益	315,576	315,576	0	315,576
バックナンバー収益	0	0	0	0
支部収益	0	0	0	0
研究部門収益	750,000	750,000	0	750,000
受取寄付金	0	0	0	0
雑収益	0	0	302,000	502,000
受取利息	0	0	2,000	2,000
雑収益	200,000	200,000	300,000	500,000
経常収益計	17,872,076	17,872,076	6,233,500	24,305,576
(2) 経常費用				
事業費	20,103,583	20,103,583	0	20,103,583
臨時雇賃金	361,822	361,822	0	361,822
会議費	3,354,278	3,354,278	0	3,354,278
旅費交通費	513,678	513,678	0	513,678
通信運搬費	588,458	588,458	0	588,458
消耗品費	268,438	268,438	0	268,438
印刷製本費	7,325,138	7,325,138	0	7,325,138
諸謝金	2,153,088	2,153,088	0	2,153,088
支払手数料	28,416	28,416	0	28,416
HP関係費	764,802	764,802	0	764,802
委託費	3,883,987	3,883,987	0	3,883,987
他学協会連携関係維持費	298,622	298,622	0	298,622
雑費	562,856	562,856	0	562,856
管理費	0	0	4,151,064	4,151,064
臨時雇賃金	0	0	0	0
会議費	0	0	40,000	40,000
旅費交通費	0	0	250,000	250,000
通信運搬費	0	0	120,000	120,000
消耗品費	0	0	9,000	9,000
印刷製本費	0	0	70,000	70,000
租税公課	0	0	5,000	5,000
支払手数料	0	0	235,800	235,800
HP関係費	0	0	242,058	242,058
委託費	0	0	3,179,206	3,179,206
雑費	0	0	0	0
経常費用計	20,103,583	20,103,583	4,151,064	24,254,647
当期経常増減額	△ 2,231,507	△ 2,231,507	2,082,436	50,929
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,231,507	△ 2,231,507	2,082,436	50,929
一般正味財産期首残高				30,708,648
一般正味財産期末残高				30,759,577
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額				0
当期指定正味財産増減額				0
指定正味財産期首残高				0
指定正味財産期末残高				0
III 正味財産期末残高				30,759,577

6.4. 会費滞納者権利停止・会員資格喪失予告の件

◎会員権利停止・会員資格喪失予告者一覧（1年間：2018年度 正会員：49名 学生会員：40名）

下記の会員権利停止・会員資格喪失予告者については定款第10条および会員規則第4条により、

(1) 2019年9月末日時点で会費未納の場合は、会員の権利を2020年1月末日まで停止する。

(2) 2020年1月末日時点で会費未納の場合は、会員資格喪失とする。

正会員 49名

狭間 雅義	野中 朋美	劉 偉	鵜野 弘樹	堀 亮介	石井 陽真
龍田 駿一	大隈 滋	須田 正毅	吉兼 裕貴	松本 義之	加藤 智之
増田 和明	田村 隆善	井田 憲一	杉木 重泰	高島 幸成	今仁 武臣
岡崎 義仁	嶋田 健	谷口 秀一	タルクダルメヘディハサン		矢野 肇
井上 隆康	OvezmyradovBerdymurad		三澤 哲夫	力 利則	塩原 裕喜
村木 正昭	青木 武典	谷内 宏行	石島 隆	濱田 泰以	日當 明男
矢後 諒智	藤井 信忠	野中 尋史	小川 憲斗	白川 莉彩	植田 美香
辺 成祐	横山 真一郎	江上 慎	伊藤 裕康	藤原 悠太	古澤 武雄
井上 文彦	田島 聡	金 桂香			

学生会員 40名

鈴木 翼	菊川 裕之	西尾 友里	伊藤 健太郎	今野 裕紀	福田 亘
七澤 巧	岡田 貴斗	清水 良太郎	杜 日東	登日 亮介	水落 洋貴
齋藤 仁貴	堀川 貴正	小林 悠	岡部 悠	植松 凌太	藤井 美帆
岩田 凌	篠原 健吾	巖 佳欣	佐藤 修啓	浅野 祐輝	清野 晶宏
神崎 訓枝	及川 恒	平田 和音	茂出木 将一	岸 一輝	高橋 良太
北山 大輔	北瀬 銀河	小鍛冶 啓	林 建太朗	張 笑琰	平田 亮輔
安田 直生	周 佳鑫	桑井 美季	友田 哲平		

7. 審議事項

第一号議案 2018 年度事業報告及び収支決算報告の件

報告事項 6. 1 2018 年度事業報告，学会賞・論文賞・論文奨励賞・特別賞報告及び収支決算報告（pp. 1～pp. 32）をご参照ください。

第二号議案 理事及び監事に対する報酬等の支給基準

公益社団法人 日本経営工学会

改訂前	改訂後
1) 定款 第 27 条 役員は、無報酬とする。但し常勤の役員に対しては、社員総会において定める総額の範囲内で、社員総会で別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。 第 15 条 社員総会は次の事項について決議する。 (3) 理事及び監事の報酬等の額	1) 定款 第 27 条 役員は、無報酬とする。但し常勤の役員に対しては、社員総会において定める総額の範囲内で、社員総会で別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。 第 15 条 社員総会は次の事項について決議する。 (3) 理事及び監事の報酬等の額
2) 勤務形態 1 週間に 3 日以上 5 日以内かつ 1 日 5 時間以上 7 時間以内の勤務を継続する者を常勤者とする。	2) 勤務形態 1 週間に 3 日以上 5 日以内かつ 1 日 5 時間以上 7 時間以内の勤務を継続する者を常勤者とする。
3) 報酬等の区分 基本給及び通勤交通費とする。	3) 報酬等の区分 基本給及び通勤交通費とする。
4) 初任金額の算定方法 最低賃金制度の府県別時給単価の加重平均額（以下時給単価という）の 2 倍以上 3 倍以内の額で理事会が提案し、社員総会で決定する。決定時点の金額に対して、その後、時給単価が 100 円以上の差異を生じた場合は、理事会の決議により変更することができる。	4) 初任金額の算定方法 最低賃金制度の府県別時給単価の加重平均額（以下時給単価という）の 2 倍以上 3 倍以内の額で理事会が提案し、社員総会で決定する。決定時点の金額に対して、その後、時給単価が 100 円以上の差異を生じた場合は、理事会の決議により変更することができる。
5) 支給方法 当月 1 日より当月末日までの 1 か月分の金額を当月末日に支給する。1 カ月に満たない場合	5) 支給方法 当月 1 日より当月末日までの 1 か月分の金額を当月末日に支給する。1 カ月に満たない場合

は、日割り計算の金額を支給する。支給日が金融機関の非営業日の場合は、直前の営業日に支給する。 6) 支給形態 受給者の金融機関口座へ送金する。 7) この支給基準は、公益社団法人日本経営工学会の設宣の日より施行する。	は、日割り計算の金額を支給する。支給日が金融機関の非営業日の場合は、直前の営業日に支給する。 6) 支給形態 受給者の金融機関口座へ送金する。 7) この支給基準は、公益社団法人日本経営工学会の設宣の日より施行する。 <u>8) この支給基準の改廃は、総会の決議を経て行う。</u>
--	--

第三号議案 名誉会員推戴の件

会員細則

JS2-05-1

公益社団法人 日本経営工学会

第2章 名誉会員推薦

- 第1条 名誉会員推薦については定款第5条に定めるものの他は、本細則にもとづいて行う。
- 第2条 名誉会員候補者は、3月末時点において70歳以上で、本細則第3条のいずれかに該当する人とする。
- 第3条 前会長または元会長
- 2 副会長，理事，監事，支部長，委員長の各1期を以下のように定め，合計10点以上の人。
ただし，期未満の場合には，繰り上げとする。
 - ・副会長 5点 ・理事 4点
 - ・監事 4点（ただし，公益社団法人認定以前（第29期以前）は2点）
 - ・支部長 2点 ・委員長 1点
 - 3 その他，上記に準じると理事会が認めた人。
- 第4条 本細則第3条にもとづき，会員委員会は候補者名簿を作成し，理事会に報告する。理事会はこれを検討の後，候補者案をまとめて，総会に提案する。総会は，この候補者を定款第5条に基づき審査し，推薦を議決する。
- 2 名誉会員候補者に対しては，理事会承認後，会長名の文書で名誉会員候補者に推薦された旨を伝え，総会授賞式への出席を求め，他の名誉会員と同様に大会への無料招待状を送り，名誉会員推戴が議決された総会開催年度以降の年会費を無料とする。

上記会員細則に基づき、会員委員会、理事会で審議の結果、本会正会員の

飯島正樹氏、小谷重徳氏

を名誉会員として推戴いたします。

第四号議案 新役員選任の件

第 35 期役員

役職	氏名	所属
会長	松川 弘明	慶應義塾大学
理事	伊呂原 隆	上智大学
	開沼 泰隆	首都大学東京
	辛島 光彦	東海大学
	志田 敬介	慶應義塾大学
	西岡 久充	龍谷大学
	皆川 健多郎	大阪工業大学
	森川 克己	広島大学
	八木 英一郎	東海大学
	中島 健一 ※	早稲田大学
	藤野 直明 ※	株式会社野村総合研究所
	葛山 康典 ※	早稲田大学
	小島 貢利 ※	名古屋工業大学
監事	大久保 寛基	東京都市大学
	西口 宏美	東海大学

※役員及び代議員選挙規則第 21 条による会長指名の役員

第 35 期代議員 (33 名)

No.	氏名	所属	所属支部	種別
1	植竹 俊文	岩手県立大学	北海道・東北	学
2	石井 信明	神奈川大学	関東	
3	石垣 綾	東京理科大学		
4	大場 允晶	日本大学		
5	大森 峻一	早稲田大学		
6	白井 裕	千葉工業大学		
7	鈴木 淳	獨協大学		
8	高野倉 雅人	神奈川大学		
9	高橋 奈津美	青山学院大学		
10	滝 聖子	千葉工業大学		
11	肥田 拓哉	青山学院大学		
12	丸山 友希夫	日本工業大学		
13	山下 遙	上智大学		
14	山下 真	東京工業大学		
15	山田 哲男	電気通信大学		
16	飯島 俊文	Q&T マネジメント研究所	産	
17	内田 耕平	AGC 株式会社		
18	大江 啓太郎	三菱総研 DCS 株式会社		
19	鈴木 泰之	エスワイエス合同会社		
20	細田 順子	株式会社日立製作所/上智大学		
21	横山 英明	防衛装備庁		
22	中野 真	金沢工業大学	北陸	学
23	伊藤 久司	東海学園大学	中部	
24	伊藤 雅	愛知工業大学		
25	川村 大伸	名古屋工業大学		
26	竹本 康彦	近畿大学	関西	
27	方 蘇春	聖泉大学		
28	森澤 和子	大阪府立大学		
29	田村 豊	田村 IE 技術事務所		
30	間島 勝彦	公益社団法人日本技術士会		
31	金川 明弘	岡山県立大学	中国四国	学
32	宗澤 良臣	広島工業大学		
33	小林 稔	福岡工業大学	九州	

公益社団法人 日本経営工学会